

地区ワークショップでのアンケート集計結果 (安全安心なまち部会 関連意見の抜粋)

毎日の生活の中で、大野市政について考えることがなかったのですが、今回、貴重な考える機会に恵まれて良かったです。
まちなかの景観だけでなく、そこにアクセスする景観(ごみ、雑草)にも目を向けていただけたらと思います。
私の娘(20代)は、1才児の子育て中です。大野で子育てがしたいと言っております。家族のようなあたたかい結の心を感じられる大野であってほしいです。

越美北線の時刻表について。特に移動時間に大きな問題あり。福井駅へ着く時間を8時ごろに着くよう運動をしてほしい。現在は7:39と8:33と前者は早すぎ、後者は遅すぎて、利用者が少なくなっている。若者の大野離れが進んでいるのが現状だ。

大地震による長期の停電になった場合のライフラインの確保についての対策を考える。

雪に強いまちづくりについて、除雪車両等に金を使いすぎだと思う。水の都をうたっている大野だから、もっと流雪溝の整備をして、市民一人ひとりが自分の前くらい除雪した方がよいと思う。

赤根川、雑草を刈るのはいいんですが、後そのままで川がだんだんと細くなっています。どうかなりませんか。カルガモの親子が来にくくなっていて、上流で見かけました。大野城の下の川なのでちゃんとすべきではないですか。

大野市民として安心して生活できるよう希望する。

国道158号境寺・計石間の早期着工を望む。小中学校の再編は早急に決定すべきと思う。道の駅は、小規模でスタートすべきと思う。水害に備えて、赤根川の改修を望む。

防災での質問ですが、私の家の裏が大風の時、大雨が降るとすぐ避難指示がでるのですが、どうにかありませんかと聞いたところ、崩れたら対応します言われましたが、それでいいのですか。私も市役所にいましたので、我慢しましたが、どう思いますか？

- ・小学校から中学校を一体化し、各地区の特色を出せるような学校を作る。和泉なら冬季(スキー)と化石の学校。特色ある学校づくりをするなら、各学校は残していく方向で。
- ・和泉地区に在住していない消防団員をそろえるより、在住しているOBを加えてよいのではないか。(活動可能な人で)
- ・森林整備の名のもとに、バイオマス発電の材料を算出しているだけなのでは？路網設置のやり方がひどすぎる。
- ・地区の意見の大まかな方向が出て良かったのではなかったか。ワイワイ楽しく話できたとは思わないが、この結果がどう反映されるのでしょうか？
- ・結の心をやどす子を育てるなら、学校をなくさないでほしいと思う。地域と共に育てることが必要です。

29 企業誘致のすすみぐあい？

28 定住促進に必要な住みやすさ(学校、病院、買い物、仕事等)に不安がある。

21 融雪の水が道路を川にしている箇所が多い

13 これだけ消費者の安全がさげばれているなか、犯罪が減らないのはなぜでしょう

10 ボランティアの育成はどんなことをしているのですか？

6,7,8の満足度を上げることが必要

30,32,33については、和泉地区では見えてこない

36,37 市政に魅力がないのは確か。庁舎は立派ですが、職員と市民の情報の共有はできてないように思う

地区ワークショップでのアンケート集計結果 (安全安心なまち部会 関連意見の抜粋)

- ・未来の担う子供たちの為に、もっと住みやすい町、働きやすい町にしてほしい。
- ・スポーツ等でがんばっている子の為にもっと支援をしてほしい。
- ・高校生が無理なく通えるように公共交通手段の確保をしっかりしてほしい。
- ・子育てがしやすい又若者が住みたくくなるような大野になってほしいと思うが、今のままでは若い人は住みたいと思わないと思う。子育て支援も妊娠検診を受けて10万円支給されるなど)
- ・大月をおりる坂から大野市が一望できるスポットがあるので、活用して広めてほしいと思う。
- ・阪谷は自然、景色がきれいなので、そういう所をもっと利用しアピールしたらどうかと思う。
- ・農業している人がだんだん高齢化してくるので、将来どうなるのかと不安を感じる。
- ・田んぼの草かりや水管理など、大変なので若い人はしたがらないし、もうけも少ないので、大変なだけで苦労が多い。まとめて田うえ、稲刈りしてもらえるようにしてほしい。

大野市全体で、農作物の役割を分担するとよいと思う(希望をとる)。定年になった人に補助を出して、小さな地域ごとに車でタクシー代わりをするとよいと思う。

- ・基本施策23の施策5「有害鳥獣被害の防止」で防護柵の延長を増やすのではなく、有害鳥獣(イノシシ、サル、シカ)を少なくする方法を考えては？
- ・雪に強い道路づくりについて、夕方の除雪が必要。

- ・心の育成を中核とした教育を推進する学校づくり:いじめ、不登校ゼロの学校を強力に目指し、全国から児童、生徒を招き入れていく。
- ・自転車のまちづくり:国体の自転車ロードレースが行われたことを契機として、自転車に関わる地域としてイメージアップを図る。そのための道路整備、愛好家へのサービス強化を進めていく。

- ・人口を増やすためにまず結婚(仲人を増やしてほしい)。
- ・イノシシ、サル、日本鹿は10年前までまったくいませんでした。市の対策が悪かったのでは(駆除してしまえばよかったのでは)。
- ・大野市には豊かな自然があり、市の所有地もたくさんあります(有効に活用してほしい)。市外、県外、国外の人が呼べるような取組を。
- ・長く区長をしていますが、大野市、地区の事を知らない事があります。

除雪体制の強化！！

- ・意見を発表するのもいいが、こうして皆で話し合うことも大変いいことだった。もっと早い時期から市議員に提案したこともあったが今回になった。このような機会があれば、必ず参加したい。不特定多数の意見を言うのがいいと思う。
- ・用水路の構造を考えて、水路を作してほしい。

- ・通学の為の交通機関はしっかりと行ってほしい(待っている場所の確保)。
- ・雪の多い地区です。除雪はしっかりしてほしい(夜間に帰れなくなったことがある)。
- ・部活動の充実、他の中学などと合同にしても良いのでは？統合を早めに！
- ・中学の修学旅行で、大野さんの物品の販売を行っているが、毎回好評と聞きます。定期的に行うことができると良いと思います(地域ブランドの周知)。
- ・総合体育館を増やしてほしい(大野、勝山で一つも無い)。雨天でも陸上競技ができるようにしておく。
- ・健康の為に、市民が自由に使える施設が必要。
- ・観光スポットを市内にまとめない方が良い。
- ・市民参加のワークショップ(教室的なもの、子どもと一緒に参加できる様なもの)を平日だけでなく夜にも実施してほしい。
- ・スポーツの体験会(メジャーでないスポーツ)

地区ワークショップでのアンケート集計結果 (安全安心なまち部会 関連意見の抜粋)

・何をするにしても徹底してほしい。中途半端なことはしてほしくない。
 ・除雪対策を徹底してほしい。排雪の場所をしっかりと決めてほしい。各集落で自由に使える除雪機をお願い。
 ・夕方から夜にかけての除雪、家に帰れない。
 ・若い世代が市外へ流出しないよう、市内へ移って住む場合も支援してほしい。空き家を利用して市街地に残ってもらうなど。
 ・JR、高校への通学の便をもっとよくしてほしい。利便性がないと市外へ出る動機になってしまうのではない。
 ・上水道、行政が一本化して運営、管理してほしい。料金の統一化。
 ・市が行っている成果が伝わってこない。PRをうまく行ってほしい。

・ワークショップに参加して思ったことは、大野市に生まれて生きてきたことに、まずよかったと思いました。
 ・小学校、中学校の統合には賛成です。少人数では勉強は十分目が届くとは思いますが、もっと大事な社会の中の一人としての協調性がなくては、大人の社会へは出ていけない。大人社会はもっと競争社会だと思う(いじめもある)。生ぬるい環境すぎると思います。義務教育の時は一人一人に目が届くが、学校生活が終わると一度も就職もせず、引きこもっている人が近所に何人かいます。声もかけられず、知らんぷりをしていますが、もっと行政が声かけしてもらえないかなと思います。
 ・大野には、車道と広い歩道があるけど、自転車は車道を走るようになっているけど、看板等をつけて歩道を走れるようにしてほしい。

・大野市は市外の人に開かれた観光地を目指しているのか、市内の人が幸せに(今まで通り)暮らせるまちを目指しているのか。市民は後者の方が多いように感じる。だからアピール不足になるのではない。学校、子どもありきの行事、発展を望むより、高齢化社会なので、自分たちでまちや市を盛り上げようという力が必要。
 ・観光地の体験時間がJRの発着時間と合っていないところがある(和泉など)。電車で来てもらいたい、使ってもらいたいなら観光地は交通機関と連携すべきだと思う。
 ・市総体を見たが、ほとんどの競技で全地区の参加者はそろわず、観客も少なく、とても市総体と言えるものではなかった。ほんの一部の人たちだけで行われていると感じた。どのようにしていくといいのかなと思った。
 ・色々なスポーツ行事を学校ありきで行っていると思う。今後、学校再編が進み、学校が自分たちの地域にない状況になっても、活気あるスポーツ行事を行っていくためには、どうしたらいいのかな。
 ・世代の違う方の意見が聞けて、とても勉強になりました。

大野市の方向性として、ガンガン活性化を目指すのではなく、仕事は福井市で行い、住むのは静かで落ち着いた大野ですというのはどうでしょうか。

・「基本施策21 雪に強いまちづくり」 大野市街地の流雪溝の水量について、流れない側溝が多い。
 ・「基本施策9 保健予防と地域医療の推進」 地域長寿について、医師の高齢化や後継者がいないという事で無床診療所が増えている。高齢社会には身近な入院施設が必要。

・「基本施策16 人にやさしい道路環境の創出」 道路と歩道の境の雑草がひどく、景観も悪く、歩道の役目を果たしていない。
 ・「基本施策19 高度情報化の推進」 子どものICTの推進は大人になってから始めてもいいのではないですか。
 ・「基本施策22 越前おおのブランド戦略の推進」 道の駅で大野の里芋を使用した加工品をどんどんPRする。
 ・「基本施策5 共に力を合わせるふるさとづくり」 地区で共に力を合わせて作業をするにも、高齢者が多くなり機械を使つての草刈りが難しく、大変。まだまだ男女の区別があります。
 ・「基本施策23 越前おおの型農業の推進」 サルの害がひどく、野菜が全滅で困っています。
 ・「基本施策8 子どもと子育て家庭への支援」 地区に子どもが少なく、私の孫(4歳)はたった一人で周りに誰もいないことが可哀そうなのと心配です。
 ・「基本施策32 快適な生活環境の保全」 中部縦貫自動車道の工事で、今までずっと使っていた水が使用できなくなった事と水量が少なくなった。生水が自慢だったのですが、生水が飲めなくなった。
 ・「基本施策35 人口減少対策と地方創生の推進」 私の地域は公民館活動や各種イベント等に参加する人がほとんどいない消極的な地域だと思う。
 ・学校もない、病院もないなどとなると、安心して子どもを産み育てることができない。

地区ワークショップでのアンケート集計結果 (安全安心なまち部会 関連意見の抜粋)

・「基本施策22 越前おおのブランド戦略の推進」 アピール不足。勝山市では恐竜博物館で市外、県外にアピールしている。大野は自分のまちを守るという保守のイメージが強い。フリーペーパーでも市外は色々なイベントが掲載されているので、そういうのも活用してはどうか。(Famile、Paketeは福井市や坂井市、敦賀市等は自宅に投函されている。) ・「基本施策8 子どもと子育て家庭への支援」 人とのつながりを増やす交流の意味も含めて婚活イベントの回数を増やす。内容や参加しやすい場づくりが求められると感じました。 ・「基本施策32 快適な生活環境の保全」 中部縦貫自動車道の建設により、水源地(下唯野、七板、上唯野)の山が壊されて水量の減少、水質悪化、生水は飲めたのに飲めなくなった。 ・「基本施策35 人口減少対策と地方創生の推進」 孫が今後安心して子育てできない。廃校により周りに友達がいなくなる。とても不安である。
・消雪のための用水の確保 ・歩道が駐車場優先で傾斜がある。
・流雪溝の整備。水が流れない雨小側溝ばかり。 ・除雪回数が少なく、家に帰るまでにスリップして帰れないときがある。
・「基本施策14 中部縦貫自動車道の整備促進」 国道158号バイパスは福井との結合を促進してほしい。 ・「基本施策16 人にやさしい道路環境の創出」 集落内の道路の陥没があるが、申請しても早期に補修してくれない。 ・「基本施策17 快適な生活関連の基盤整備」 下水道の整備が遅れているように思われる。 ・「基本施策27 地域間交流の推進」 市民には具体的にどういった所との交流があるか知らないのでは？そして、その成果にはどういうものがあるのか分からない。
「雪に強いまちづくり」で道路除雪に県道、国道は早々ときれいになっているのに、市道は少しの雪では動かない。お金がないと言ってなかなか除雪してくれないとよく聞く。
・バス停が上庄にほしい。 ・障がい者との心のつながりが足りない気がする。障がい者といっても身体障がい者だけでなく発達障がいや精神障がいなど、見た目で分からない障がいもあるので、障がいへの理解が足りない。
公共交通手段の確保について、市内循環バスは充実しつつあるようだが、村部と市街地を結ぶ路線が徐々に減っている。これは利用者減によるものだろうが、減便すればますます不便になり利用者も減り悪循環が生じている。加えて、市内バスとの連絡が非常に悪い。 高齢者の免許返納も考えると、乗り合いタクシー等だけではいかなものかという気もする。市内と村部をスムーズに行き来できるような交通手段を作れば、まちなかの活性化にもつながると思う。交通網は大切だ。これから高齢化社会に向かっているのが目に見えているので、さらに交通網に力を入れてもらいたい。
今まで大変無関心でいましたが、今後意識していろんなことに協力したいと感じました。それなりに自分の道路脇などきれいに花を植えたりしております。
道路脇の草、自営農家の人は年に数回刈っていたが、現在営農組織などはほとんどしない。補助金等を支給しているなら指導してほしい。
中部縦貫道は工事が進んでいるが、市民としては158号のバイパスを早く完成させてほしい。福井市へ働きに出る人が多く、計石辺りで事故が起こると通行できなくなる。子育て世代は核家族化すると大野に家を建てないで福井や坂井へ行ってしまう。政治家が活動をもっとしてほしい。市民の実感として工事が進んでいないと感じる。残り5キロが進まない。若者が流出してしまう。市の活動の実態としてどのようなことをしているかという情報が流れてこないことが問題。努力しているが現状この様な問題があるといった情報発信をしていただきたい。
勝山は福井へのアクセスルートが複数ある。ラッシュ時の渋滞緩和を図って時間的に短縮しないといけない。

地区ワークショップでのアンケート集計結果 (安全安心なまち部会 関連意見の抜粋)

市内を配達の仕事で回っている。御清水など有名な湧水地はきれいだが、裁判所の裏の新堀川は途中まではきれいだが、下の方はゴミがあつたりして汚い。観光客もよく通っており、どんなふうに感じているかなと思っている。福井への新たなアクセス道にもなっている。
新堀清水については観光客も来られるので、スポット的に整備をしている。新堀川の場合は河川改修の話になり、なかなか進まない。新堀周辺の住民と一緒に清掃活動をしていたが、最近は停滞しているのではないかという印象を持っている。ゴミも観光客が捨てるものだけでなく、上流から流れてくるものもある。
避難場所について、春日三丁目上区では南小学校か公民館、文化会館へ避難してくださいという通知が来た。避難場所まで歩くのには遠く、高齢者も大変。文化会館がいっぱいで公民館へ行ってくださいと言われた。車で行くにしても駐車場はないし、災害時に通行は難しいのでは。エキサイト広場へ避難すれば分散されて良いのでは。市長と語る会で意見したがうやむやにされ寂しい思いをした。第六次計画では避難計画を盛り込んでいくと聞いているので是非お願いしたい。
避難所の開設については民間の高い建物と協定を結んでどうか。
北陸新幹線、中部縦貫道を造っているが、沿線が切り捨てられる。弱者が切り捨てられる。JRだと現状では特急がなくなる。大野がそのときどういう対策をとるかということに市民は不安に思っている。
JR越前大野駅前に案内がない。午前中に便利な便がない。観光地にJR駅前に観光施設がない街はない。大野駅前には警察の派出所も無くなった。
空き家になって自然倒壊し、放置されたものがそのまま鳥獣の住処になっており、生活の不安になっている。これらに対する取り組みが不十分だと感じている。
十分住める状態での空き家の活用というものだけでなく、生活の利便性を求めて住居は移動しているが、納屋などがそのまま残され自然崩壊する現状が散見される。このようなものが鳥獣の住処になって、住民の不安になっている。
親が高齢で乗合タクシーを活用している。循環バスも走っており非常にありがたいと感じている。乗合タクシー、循環バスの利用者数が少ない。利用者数が増えればコストが下がり便も増やすことができる。もう少しPRをするとよいのでは。
現在建設中の道の駅について、防災にも活用する計画があると聞いているが、ガソリンスタンドの整備計画が途中で消えてしまっていることが残念。緊急の際にも必要だが、通常時にも必要。雪が降ると福井からの道がシャットアウトされてしまう。過去の大雪の際は旧泉村では岐阜の方から油が入ってきたと聞いている。
越美北線について、千葉県房総鉄道のように自転車を載せられると利用客が増えるのではと思う。
右肩上がりの時代ではなく人口も減り、産業も衰退するなかで、どういう将来像を描いていくかということで苦心されていると思う。大変だと思うが頑張ってください。
歩道と車道の境の雑草の背丈が高く、歩こうにも歩けるような状態ではない。ツルが出ており足が引っかかり、景観も悪い。草刈り、除草を徹底していただけると良い。

地区ワークショップでのアンケート集計結果
(安全安心なまち部会 関連意見の抜粋)

道路の除雪は満足している。ただ地域ぐるみの屋根雪おろしに困っている。高齢者の家の玄関前の除雪、屋根雪おろしも地区の方が行っているが、高齢化で人夫が集まりにくくなっている。また、市の補助も安い。この間のように豪雪になると業者に頼んでもなかなか来てもらえない。地域で除雪してほしいと言われても困っている。市に行なって欲しいが市も大変そう。何か良い方法はないかと思っている。

40年前に高山や萩、倉敷に行って良い景観で、大野市もこうなったらよいと感じたが、大野がやろうとしていることは、遅れているのでは。

中部縦貫の建設により、水源地になっている山が削られ、水量が減少するとともに、水質が悪くなって飲めなくなった。

消防の関係で、水利の確保をお願いしたい。どこへ行けば水が有効に取れる確保できるかということを情報共有できると良いと思う。

中部縦貫についてはよいが、県道、国道158号については進んでいないのが現状。その辺が納得いかない。中部縦貫も大事だが、市民としては158号が大事だと思うので市として県に働きかけしてもらいたい。

空き家の活用について、私の集落ではこの10年ほどで3軒が空き家になった。1週間だけ入ってきたいという方がいらっしゃったが、4年くらい住んで帰られた。家を壊すということより市に登録した方がメリットがあるという施策が足りないのではないかと思う。

気になるのが道路の雑草。運転しているときの目線から雑草が見える。上庄街道の雑草も気になっていたが、きのう草刈りがされており、すごく綺麗になった。些細なことだが大事なことだと思う。草がいっぱいだと感じが悪い。管理を何らかの形でお願いしたい。

道路の歩道の線、中央線が消えているところが多い。交通事故が起きかねないところがある。子どもたちのためのスクールゾーンの表示も薄くなっている。おざなりになっていると感じるので改善してほしい。

大野市は水を大事にしているが、まちを流れる水路や木瓜川などの掃除をすると感じが良い。地域の人たちが掃除をするのか、それとも市が何らかの予算を立ててきれいにするのか。女性目線だと雑草対策、川をきれいにするとともに感じの良いまちになる。立派な建物があっても足元が汚いと良くないと思う。その辺りに力を入れてもらえると、もっと感じの良いまちになると思う。

地区ワークショップでのアンケート集計結果
(くらし環境部会 関連意見の抜粋)

1. ごみの資源について ペット、空き缶など回収日以外にゴミステーションに出す方が多い
2. 下庄地区は他の地域に比べると、まちづくりには積極的に参加していると思う。
3. 情報化時代で行政はHPなどで発信していると云っているが、高齢者はパソコンなど新しいスマートフォンなど活用が難しい。

湧水が大野の宝であることを忘れてはならない。地下水の保全活動に支援してほしい。

名水のまち大野市。結の故郷大野をキーワードとして毎日の生活で恩恵を受けていることを見直していきたい。

特化したまちづくり、ブランド開発等々進めていき、使わない、いらない施設の廃止。福祉の充実(医療費、給食費の無料化まで進められるか)10年後の大野をみてみたいものです。

人が元気になるには、区長、民生委員になるのが嫌だと言う人が多いうちはダメだと思います。地区民の世話をしてくださる人を育てるためにはどうしたらいいか行政は考えるべきである。

自主介護予防事業として行っている「うららでやろまい会」は、ボランティアさんを中心とした活動となりつつあり、もっとアピールしてもよいのではないかと。又、保健センターの様々な活動に乗合タクシー、バスを利用できるとよいが、時間が合わない。保健センターにAM9時ごろに着く便を作してほしい。自分が年をとったときは利用したいと思っているので残してほしい。特に村部の高齢者が利用できることを考えてほしい。病院に行く便だけではよくないと思う。市政をとて身近に感じ、考える場となり大変よかった。ありがとうございました。

大野の水について、湧水の場所の人気順位を決めては。

高齢者の対応として、フレイルをぜひ充実していただきたい。

21 地域ぐるみ雪下ろし事業について、現在は1回当たりの雪下ろし助成金は7千円であるが、現実には1回当たり数万円の費用がかかっているのが実情である。年金生活の高齢者にとっては、大変な負担となっている。今後、高齢化が進行する中で、市の負担も大きくなってくると思われるが、助成の金額や雪下ろし体制も強化する必要がある。

大野市の人口3万1千人の内、和泉地区人口500人、30年度目標が達成していたとの司会ではありましたが、和泉地区ではどうなのでしょう？
高齢による離農、放棄地のため緑が失われていく。基本目標である自然が元気、和泉地区ではどう市は考えているのか？

<障害のある人への支援>

- ・幼稚園、保育園での気がかりのある子ども(その家庭)に対し、相談できる機関、病院へスムーズにつながられるよう、市が取りまとめて、体制づくりを。
- ・幼児⇒児童⇒生徒⇒大人と、この間、引き続いての情報共有などの支援が受けられるよう、本人だけでなく、家族への相談が気軽にできる関わりをもてる機関(市)を作してほしい。色々な機関の連携の強化もお願いしたい。

<不登校、ひきこもりへの支援>

- ・学校と連携して相談に乗ってくれる場所の確立。本人、家族、学校、病院、相談所が個別のつながりだけでなく、全ての情報の共有を。
- ・ひきこもり、不登校は本人と家族のがんばりだけでは、どうにもできない。原因が分かるまでにも時間がかかる。大人になってしまうと一生ひきこもりの確立が高くなる。出られなくなってから、すぐの対応が必ずであると感じる。大人であっても家族ぐるみの支援があるとよいと思う。

<小中学校>

- ・小中学校は早く統合してほしい。子どもの人数が多い方ができることが多い。良いも悪いも体験できる。先生の数も多いので支援しやすい体制となるのではないかと。バスの通学がしっかりできれば、安心して田舎でも(阪谷でも)住んでいられる。小中学校の人数が少なすぎて不安。

地区ワークショップでのアンケート集計結果
(くらし環境部会 関連意見の抜粋)

・小中学校再編があり、現在子ども達が小学生でいるので、今後どうなっていくのか具体的な時期や場所などが、その都度明示(開示)されないのが、より具体的に情報を出してほしいです。

・少子高齢化である中で、現役世代への社会的、精神的な負担が大きくなっている中で、子育てへの支援も十分ではないので、もう少し手厚い支援をしてもらいたいです。高度・情報化推進は必要な事ですが、これに伴う技術よりも使う人の心の教育も必要です。特に子ども達は使うことに抵抗がないので、それぞれの家庭においてや地域においてのルールや思いやりの心も必要であると思います。

・学校のある時は放課後児童クラブを18時まで、長期休みのときは子育てクラブ(有料)で利用していますが、中心部で児童館を利用している子ども達は無料など経済的な面で不公平であります。実際に児童館の方を利用しようとする「定員がいっぱい」や「阪谷は子育てさんがあるでしょう」など否定的な対応をされるので、もう少し柔軟な対応をお願いします。

・一次産業である農業に関わる人が減っていく中で、魅力を感じなかったり、生活していくだけの収入がないなどのコスパが低い事もあるので、「生きていく力」としても必要なので体験学習も行ってはどうでしょうか？

・道の駅ビジョンは、どのような方が、どのような機会をもって計画を進めていらっしゃるのでしょうか？言葉が汚いですが、大野のいい所はもちろん示しつつ、古い視点では活性化につながらないと感じます。他県の方はもちろん、まずは地元の人たちが普段から足を運べるようなもの(特に若い世代が)でなくてはいけません。

・雨でも一日遊べる公園(エンゼルランドのようなもの)の整備などを進めてほしいです。その一つの取り組みだけでも、若い世代が大野から出ていくのを食い止めるきっかけになると思うからです。

・今日は貴重な場をつくって頂き、ありがとうございました。これからもみんなで考える機会に参加していきたいです。

・大野市外への魅力ある情報の発信は、ホームページでは十分でないと思います。テレビで発信するのが一番だと思います。資金はかかりますが、長い目でみての発信をお願いしたいです。

10年後、地域の医院は開業していないのではないかと。富田地区や大野からの利用もあり、阪谷地区には核となっている場所だから、和泉診療所のような役割をもたせてほしい。

市内の上下水道整備イコール地下水保全と思う。

・越前おおのブランドって、すこサイダーのようにまだまだおいしいものがあると思いますし、もっと見つけて発信をもっと考えてほしいです。

・雨や雪の日でも子どもたちが遊べる場所がほしいです。

・ワークショップ型での意見交換は大変活発に進めることができ良かったです。

・人口減少問題は最大の課題で個別に出会いを求める場や機会が少ないので行政サポートで出会いの場を設け、市の人口が増える対策を第一の政策にしていくことを考えてほしい。人口が増えれば多くの課題が解決できると思います。

基本施策9の保健医療分野で、人間ドックの受診を簡易(容易)にしてほしい。

毎日の生活の中で、大野市政について考えることがなかったのですが、今回、貴重な考える機会に恵まれて良かったです。

まちなかの景観だけでなく、そこにアクセスする景観(ごみ、雑草)にも目を向けていただけたらと思います。私の娘(20代)は、1才児の子育て中です。大野で子育てがしたいと言っております。家族のようなあたたかい結の心を感じられる大野であってほしいです。

赤根川、雑草を刈るのはいいんですが、後そのまま川がだんだんと細くなっています。どうかなりませんか。カルガモの親子が来にくくなっていて、上流で見かけました。大野城の下の川なのでちゃんとすべきではないですか。

大野市民として安心して生活できるよう希望する。

地区ワークショップでのアンケート集計結果 (くらし環境部会 関連意見の抜粋)

29 企業誘致のすすみぐあい？
28 定住促進に必要な住みやすさ(学校、病院、買い物、仕事等)に不安がある。
21 融雪の水が道路を川にしている箇所が多い
13 これだけ消費者の安全がさげばれているなか、犯罪が減らないのはなぜでしょう
10 ボランティアの育成はどんなことをしているのですか？
6,7,8の満足度を上げることが必要
30,32,33については、和泉地区では見えてこない
36,37 市政に魅力がないのは確か。庁舎は立派ですが、職員と市民の情報の共有はできてないように思う

- ・未来の担う子供たちの為に、もっと住みやすい町、働きやすい町にしてほしい。
- ・スポーツ等でがんばっている子の為にもっと支援をしてほしい。
- ・高校生が無理なく通えるように公共交通手段の確保をしっかりしてほしい。
- ・子育てがしやすい又若者が住みたくなるような大野になってほしいと思うが、今のままでは若い人は住みたいと思わないと思う。子育て支援も妊娠されている方の支援も勝山に比べるとやや劣るのではないかと感じる。(勝山では、勝山病院で妊娠検診を受けると10万円支給されるなど)
- ・大月をおりる坂から大野市が一望できるスポットがあるので、活用して広めてほしいと思う。
- ・阪谷は自然、景色がきれいなので、そういう所をもっと利用しアピールしたらどうかと思う。
- ・農業している人がだんだん高齢化してくるので、将来どうなるのかと不安を感じる。
- ・田んぼの草かりや水管理など、大変なので若い人はしたがりないし、もうけも少ないので、大変なだけで苦勞が多い。まとめて田うえ、稲刈りしてもらえるようにしてほしい。

大野市全体で、農作物の役割を分担するとよいと思う(希望をとる)。定年になった人に補助を出して、小さな地域ごとに車でタクシー代わりをするとよいと思う。

- ・人口を増やすためにまず結婚(仲人を増やしてほしい)。
- ・イノシシ、サル、日本鹿は10年前までまったくいませんでした。市の対策が悪かったのでは(駆除してしまえばよかったのでは)。
- ・大野市には豊かな自然があり、市の所有地もたくさんあります(有効に活用してほしい)。市外、県外、国外の人が呼べるような取組を。
- ・長く区長をしていますが、大野市、地区の事を知らない事があります。

- ・通学の為の交通機関はしっかりと行ってほしい(待っている場所の確保)。
- ・雪の多い地区です。除雪はしっかりしてほしい(夜間に帰れなくなったことがある)。
- ・部活動の充実、他の中学などと合同にしても良いのでは？統合を早めに！
- ・中学の修学旅行で、大野さんの物品の販売を行っているが、毎回好評と聞きます。定期的に行うことができると良いと思います(地域ブランドの周知)。
- ・総合体育館を増やしてほしい(大野、勝山で一つも無い)。雨天でも陸上競技ができるようにしておく。
- ・健康の為に、市民が自由に使える施設が必要。
- ・観光スポットを市内にまとめない方が良い。
- ・市民参加のワークショップ(教室的なもの、子どもと一緒に参加できる様なもの)を平日だけでなく夜にも実施してほしい。
- ・スポーツの体験会(メジャーでないスポーツ)

- ・何をするにしても徹底してほしい。中途半端なことはしてほしくない。
- ・除雪対策を徹底してほしい。排雪の場所をしっかりと決めてほしい。各集落で自由に使える除雪機をおいてほしい。夕方から夜にかけての除雪、家に帰れない。
- ・若い世代が市外へ流出しないよう、市内へ移って住む場合も支援してほしい。空き家を利用して市街地に残ってもらうなど。
- ・JR、高校への通学の便をもっとよくしてほしい。利便性がないと市外へ出る動機になってしまうのではないかと。
- ・上水道、行政が一本化して運営、管理してほしい。料金の統一化。
- ・市が行っている成果が伝わってこない。PRをうまく行ってほしい。

地区ワークショップでのアンケート集計結果 (くらし環境部会 関連意見の抜粋)

・大野市は市外の人に開かれた観光地を目指しているのか、市内の人が幸せに(今まで通り)暮らせるまちを目指しているのか。市民は後者の方が多く感じる。だからアピール不足になるのではないか。学校、子どもありきの行事、発展を望むより、高齢化社会なので、自分たちでまちや市を盛り上げようという力が必要。

・観光地の体験時間がJRの発着時間と合っていないところがある(和泉など)。電車で来てもらいたい、使ってもらいたいなら観光地は交通機関と連携すべきだと思う。

・市総体を見たが、ほとんどの競技で全地区の参加者はそろわず、観客も少なく、とても市総体と言えるものではなかった。ほんの一部の人たちだけで行われていると感じた。どのようにしていくといいのかなと思った。

・色々なスポーツ行事を学校ありきで行っていると思う。今後、学校再編が進み、学校が自分たちの地域にない状況になっても、活気あるスポーツ行事を行っていくためには、どうしたらいいのかな。

・世代の違う方の意見が聞けて、とても勉強になりました。

大野市の方向性として、ガンガン活性化を目指すのではなく、仕事は福井市で行い、住むのは静かで落ち着いた大野ですというのはどうでしょうか。

・「基本施策21 雪に強いまちづくり」大野市街地の流雪溝の水量について、流れない側溝が多い。

・「基本施策9 保健予防と地域医療の推進」地域長寿について、医師の高齢化や後継者がいないという事で無床診療所が増えている。高齢社会には身近な入院施設が必要。

・「基本施策16 人にやさしい道路環境の創出」道路と歩道の境の雑草がひどく、景観も悪く、歩道の役目を果たしていない。

・「基本施策19 高度情報化の推進」子どものICTの推進は大人になってから始めてもいいのではないですか。

・「基本施策22 越前おおのブランド戦略の推進」道の駅で大野の里芋を使用した加工品をどんどんPRする。

・「基本施策5 共に力を合わせるふるさとづくり」地区で共に力を合わせて作業をするにも、高齢者が多くなり機械を使つての草刈りが難しく、大変。まだまだ男女の区別があります。

・「基本施策23 越前おおの型農業の推進」サルの害がひどく、野菜が全滅で困っています。

・「基本施策8 子どもと子育て家庭への支援」地区に子どもが少なく、私の孫(4歳)はたった一人で周りに誰もいないことが可哀そうなのと心配です。

・「基本施策32 快適な生活環境の保全」中部縦貫自動車道の工事で、今までずっと使っていた水が使用できなくなった事と水量が少なくなった。生水が自慢だったのですが、生水が飲めなくなった。

・「基本施策35 人口減少対策と地方創生の推進」私の地域は公民館活動や各種イベント等に参加する人がほとんどいない消極的な地域だと思う。

・学校もない、病院もないなどとなると、安心して子どもを産み育てることができない。

・「基本施策22 越前おおのブランド戦略の推進」アピール不足。勝山市では恐竜博物館で市外、県外にアピールしている。大野は自分のまちを守るという保守のイメージが強い。フリーペーパーでも市外は色々なイベントが掲載されているので、そういうのも活用してはどうか。(Famile、Paketeは福井市や坂井市、敦賀市等は自宅に投函されている。)

・「基本施策8 子どもと子育て家庭への支援」人とのつながりを増やす交流の意味も含めて婚活イベントの回数を増やす。内容や参加しやすい場づくりが求められると感じました。

・「基本施策32 快適な生活環境の保全」中部縦貫自動車道の建設により、水源地(下唯野、七板、上唯野)の山が壊されて水量の減少、水質悪化、生水は飲めたのに飲めなくなった。

・「基本施策35 人口減少対策と地方創生の推進」孫が今後安心して子育てできない。廃校により周りに友達がいなくなる。とても不安である。

・「基本施策14 中部縦貫自動車道の整備促進」国道158号バイパスは福井との結合を促進してほしい。

・「基本施策16 人にやさしい道路環境の創出」集落内の道路の陥没があるが、申請しても早期に補修してくれない。

・「基本施策17 快適な生活関連の基盤整備」下水道の整備が遅れているように思われる。

・「基本施策27 地域間交流の推進」市民には具体的にどういった所との交流があるか知らないのでは？そして、その成果にはどういうものがあるのか分からない。

地区ワークショップでのアンケート集計結果
(くらし環境部会 関連意見の抜粋)

・バス停が上庄にほしい。 ・障がい者との心のつながりが足りない気がする。障がい者といっても身体障がい者だけでなく発達障がいや精神障がいなど、見た目で分からない障がいもあるので、障がいへの理解が足りない。
公共交通手段の確保について、市内循環バスは充実しつつあるようだが、村部と市街地を結ぶ路線が徐々に減っている。これは利用者減によるものだろうが、減便すればますます不便になり利用者も減り悪循環が生じている。加えて、市内バスとの連絡が非常に悪い。 高齢者の免許返納も考えると、乗り合いタクシー等だけではいかなものかという気もする。市内と村部をスムーズに行き来できるような交通手段を作れば、まちなかの活性化にもつながると思う。交通網は大切だ。これから高齢化社会に向かっているのが目に見えているので、さらに交通網に力を入れてもらいたい。
市内を配達の仕事で回っている。御清水など有名な湧水地はきれいだが、裁判所の裏の新堀川は途中まではきれいだが、下の方はゴミがあつたりして汚い。観光客もよく通っており、どんなふうに感じているかなと思っている。福井への新たなアクセス道にもなっている。
新堀清水はきれいに整備されているが、その下流にあたる部分、亀山へ向かう橋が渡っている部分も汚い。
生涯現役の就労支援なんて介護をしながらは厳しい。「生涯現役」でなくてもよいようなことはできないか。「生涯現役」ということは困難。お金の問題ではないが、明日の生活も厳しい。生涯現役を目的に持たせるのはいかがかと思う。
大野が人口減少対策と地方創生の推進に取り組むにあたって大事なものが抜けている。高齢化が進んでいるのにその様な方への施策が少ないように感じる。お年寄りの方にも応援してもらいたい。新しい方が来られるということより、今いる方が出ていかないということも大事ではないか。温故知新。何かよい方法がないかと思う。
女性も仕事を持っていて、子育てしながらは難しい。
一人暮らしの高齢者宅の屋根雪おろしの問題もある。第五次を策定したときは若い方も多かったが、今の人口構成は当時とは違う。現状に合わせ、若い方が帰ってこられるような地域にするにはどうすればよいかということ盛り込まないといけない。
大野の宝は地下水。きれいな水があるからお米、お酒、お豆腐、醤油などおいしい。企業誘致も良いが、他と競争しても引けを取らないのが地下水であり、良質な食べ物。塩素で消毒していない水を飲めることは自信を持って良い。東ティモールへの支援も、水の恩恵を受けてきた恩返しという形で支援している。第五次の構想実現の柱の中で何が最優先かということは人間の力ではどうしようもできない「自然が元気」。自然が良くないところには産業もこない。何を最優先するかを第六次に反映させてもらいたい。自然は第一に考えるべき。並列ではない。自然が第一にこないとか次世代につなぐ持続可能な社会の形成はできないと思う。
大野市は環境基本計画というものがある。数値目標について、一人当たりのゴミの排出量は1日800gが当初の目標だったが、変更後は850gになっていた。廃棄物の資源化率の目標値は当初30%だったものが26%になっていた。このように数値を緩めてごまかしたというように市民が感じてしまったら失敗ではないのか。これらも反映させて計画をたててほしい。大野独自のやり方で汚水処理をするなど、最先端のモデルになるようになってほしい。
検診結果を元に詳しく調べてほしい、かかりつけ医のところに行ったが患者が多く、気軽に相談できない。気軽に相談できるような場所があるとよい。

地区ワークショップでのアンケート集計結果 (くらし環境部会 関連意見の抜粋)

介護保険事業の関係で小山、阪谷、乾側で始まっている事業がある。自分たちでできることを、お互い様でできることをしましょうという事業を始めている。自助、互助、共助、公助ということは皆さんよく理解をしている。ところが、現実を見てみると、かつての集落では自助、共助ができたが、現在は力が弱まっている。そういう中で、自助、共助という言葉が力が持たなくなってきたと感じており、ジレンマに陥っている。ただ、何もしないでいるのではなく、介護保険事業の中で、お互い様のところで小山地区で何かできないかということで事業を立ち上げ、月に1度10名ほどが集まって話をしている。難しい現実があり、将来あるべき理想の姿もあるが、どうやったらそこに向かっていけるのかということは未知数だということが正直なところ。

大野市は高齢者が多い。健康に生活できることが重要で、それを意識している方も多い。元気な高齢者が能力を発揮できる場を作ってくれたらうれしい。地域に貢献できているということが、やりがい、生きがいになっている。

小山小学校では「ふれあい農園」を作っていて、お年寄りが小学生を手伝っている。参加者の楽しみ、励みにもなる。

右肩上がりの時代ではなく人口も減り、産業も衰退するなかで、どういう将来像を描いていくかということで苦心されていると思う。大変だと思うが頑張っていたきたい。

福祉関連施策については、特に社会福祉協議会で実施されているが、市からの補助金が90%以上。市の財政が緊迫している中、重点的に見ていかなければならない。いろいろな施策の中で強弱をつけて必要なものはこうあるべきだと打ち出さなければならない。

障害のある子への支援についてだが、幼稚園、保育園へ行って気になるところがあると言われた時に、どうしてよいか、相談する先、受診する病院が分からない。この先親としてどのように対応していけば良いか分からない。保育園や小学校に上がった時に、気になる場所が見つかった際に、どういった所へ相談したら良いか、病院はどのような所へ行けば良いかなど、相談できる専任の先生から統一した情報を得られると良い。小学校から中学校に上がった際にも、学校の先生以外にも支援の専門の先生がいて、保育園と小学校での情報や病院での診断内容、どう対応すれば良いかということ、義務教育の間は一貫して支援が受けやすい状況になるとよい。身体に障害がある場合は早い段階で分かるが、精神に障害がある場合、保育園や小学校に入ってからなど大きくならないと気づきにくい。親もどうしてよいか分からず不安だし、受けとめられない。市内の障害のある子がいる家庭が統一的に相談できるような場所、情報を持っていける場所があるとよい。子どもの状況を把握しておいてもらえる体制が確立すると良いと思う。普通の中学校であつても担任の先生、養護の先生、こころの教室のサポートなど支援は手厚くなっていると感じている。軽い障害のある子もたくさんいる。学校で馴染んでいけるように子どもを見てもらえるような体制ができるともっと良くなると思う。

バイオマス発電について、風向きによっては阪谷(松丸)に煙が来る。油混じりの匂いであつたりするため気になる。バイオマス発電と二酸化炭素を増やさないということは違うのでは。

道路の除雪は満足している。ただ地域ぐるみの屋根雪おろしに困っている。高齢者の家の玄関前の除雪、屋根雪おろしも地区の方が行なっているが、高齢化で人手が集まりにくくなっている。また、市の補助も安い。この間のように豪雪になると業者に頼んでもなかなか来てもらえない。地域で除雪してほしいと言われても困っている。市に行なって欲しいが市も大変そう。何か良い方法はないかと思っている。

中部縦貫の建設により、水源地になっている山が削られ、水量が減少するとともに、水質が悪くなって飲めなくなった。

「安心して子どもを生み育てられる環境づくり」とあるが、学校がどんどん少なくなり、これからの子どもは周りに友達がいなくなり不安。

障害のある方と関わりがあるが、まだまだ分かり合えていないと感じるところがある。障害のある方が就労することが難しいので、雇用が増えると思う。

地区ワークショップでのアンケート集計結果
(くらし環境部会 関連意見の抜粋)

大野市は水を大事にしているが、まちを流れる水路や木瓜川などの掃除をすると感じが良い。地域の人たちが掃除をするのか、それとも市が何らかの予算を立ててきれいにするのか。女性目線だと雑草対策、川をきれいにするともっと感じの良いまちになる。立派な建物があっても足元が汚いと良くないと思う。その辺りに力を入れてもらおうと、もっと感じの良いまちになると思う。

地下水は確かに綺麗になっているが、地下水はどこからきているかというと、われわれ上庄地区から浸透している。水がスムーズに浸透するように、ため池がいくつか必要では。単純に池を掘れば良いというものではないと思うが意見として申し上げる。

地区ワークショップでのアンケート集計結果 (産業部会 関連意見の抜粋)

まちなか観光を売りにしているが、通りを歩くとシャッターの降りているのが多い。大人数で食事ができるところが少ない。
せっかく時間を作って参加したが、市民の声を聞く等のワークショップではなかったと思う。 学校再編について、市民に対する説明会及び市民の声を聞く機会がないのでは。 道の駅を大きな施設を作るように聞いているが、道の駅がつぶれるところが多いのもっと考えてほしい。皆が活用するかは大きな問題だと思う。 空き家が足りませんのチラシを見ましたが、市内は空き家がたくさんあると思います。市職員が足で歩いて町内を見てほしい。 大野市の観光である水、御清水の清掃、保存等をしっかりしてほしい。御清水の清掃で大変苦勞をしています。
自主的なグループで間伐材の活用。意見交換会に参加者を呼び込む方法が見当たらない。
大野市の観光人口が増えています。しかし、短期滞在型が多い。ホテルの誘致とトイレの充実を考えていただきたい。
地域の取りくみに対し、支援する体制が必要。バイオマス発電で、小山の林業、山の管理はよくなったのか？
新緑の国道158号、又紅葉のダム湖周辺と158号、中部縦貫道によって見てもらえないのは残念です。
若い方が働きたいと思える職、環境を整えることができるか？地元に残る人、又は戻って来られる方が増えるような魅力の創出。 アンケート形式でシールの部分を事前に片づけておけば良いと思った、(時間の有効利用)
ブランド戦略、高齢化が進むに従って、特産品作りの後継者の確保の重要性について不安がある。 協力隊メンバーの育成に力を入れてほしい。任期終了後のサポートと地域に残ってもらう支援が大切。 公民館活動の内容の充実で地域は活かされるゆえ、今一番、重点的に後押し、バックアップに力を入れてほしい。
中山間地の役割は、多面的機能をはじめ豊かな環境で済みやすい山村集落の形成になると感じている。 特に和泉地区は集落を維持する限界に達しつつあり、よって基本施策の中の中山間地のあるべき姿を明記すべきと思う。「中山間地の活性化」とか。抜本的な支援を。
まちづくり会社、市街地活性化協議会など、まちなかを活性化しようとする組織は出来るが、具体的な施策が見えてこない。空家の活用はもちろんだが、和泉には空家はないし、自動車道が出来て岐阜・名古屋が通勤範囲になってきていることを踏まえて、住宅を建設し、人(若者)を誘致してほしい。人口増を考えてほしい。
間伐材を利用してもらったとしても、その後その杉をどうするのか、杉の価値、売れない(切るにもお金がかかるので、見合わない)。バイオマスの活用というが、その後がみえてこない。法恩寺の林道を整備して、恐竜博物館からつなげて観光の目玉にしてはどうか。とても美しい景色である。 ・ホームページなど、ネットは若い世代が利用すると思うが、市報や地域のたよりは紙で必要。観光客向けはSNS、ホームページでのアピールをもっとしてほしい。
少しでも元気で働きやすいように努力していきたい！
組織に所属して働くことが普通となっているが、創業するという手段もあるという事を学ぶ場があってもよいのでは。
「基本施策26 戦略的な観光の推進」、「基本施策33 良好なふるさと景観の形成」について、馬返しトンネルを越えた所の魚止めの景観のアピールと共に、つり橋を設置して遊歩道を対岸に作って、一目白山を見れるようにする。又、六呂師高原からの大野の夜景をアピールするとよい。

地区ワークショップでのアンケート集計結果 (産業部会 関連意見の抜粋)

国道158号境寺・計石間の早期着工を望む。小中学校の再編は早急に決定すべきと思う。道の駅は、小規模でスタートすべきと思う。水害に備えて、赤根川の改修を望む。

- ・小学校から中学校を一体化し、各地区の特色を出せるような学校を作る。和泉なら冬季(スキー)と化石の学校。特色ある学校づくりをするなら、各学校は残していく方向で。
- ・和泉地区に在住していない消防団員をそろえるより、在住しているOBを加えてよいのではないか。(活動可能な人で)
- ・森林整備の名のもとに、バイオマス発電の材料を算出しているだけなのでは？路網設置のやり方がひどすぎる。
- ・地区の意見の大まかな方向が出て良かったのではなかったか。ワイワイ楽しく話できたとは思わないが、この結果がどう反映されるのでしょうか？
- ・結の心をやどす子を育てるなら、学校をなくさないでほしいと思う。地域と共に育てることが必要です。

大野市の人口3万1千人の内、和泉地区人口500人、30年度目標が達成していたとの司会ではありましたが、和泉地区ではどうなのでしょう？
高齢による離農、放棄地のため緑が失われていく。基本目標である自然が元気、和泉地区ではどう市は考えているのか？

- ・基本施策23の施策5「有害鳥獣被害の防止」で防護柵の延長を増やすのではなく、有害鳥獣(イノシシ、サル、シカ)を少なくする方法を考えては？
- ・雪に強い道路づくりについて、夕方の除雪が必要。

- ・心の育成を中核とした教育を推進する学校づくり:いじめ、不登校ゼロの学校を強力に目指し、全国から児童、生徒を招き入れていく。
- ・自転車のまちづくり:国体の自転車ロードレースが行われたことを契機として、自転車に関わる地域としてイメージアップを図る。そのための道路整備、愛好家へのサービス強化を進めていく。

- ・小中学校再編があり、現在子ども達が小学生でいるので、今後どうなっていくのか具体的な時期や場所などが、その都度明示(開示)されないのが、より具体的に情報を出してほしいです。
- ・少子高齢化である中で、現役世代への社会的、精神的な負担が大きくなっている中で、子育てへの支援も十分ではないので、もう少し手厚い支援をしてもらいたいです。高度・情報化推進は必要な事ですが、これに伴う技術よりも使う人の心の教育も必要です。特に子ども達は使うことに抵抗がないので、それぞれの家庭においてや地域においてのルールや思いやりの心も必要であると思います。
- ・学校のある時は放課後児童クラブを18時まで、長期休みのときは子育てクラブ(有料)で利用していますが、中心部で児童館を利用している子ども達は無料など経済的な面で不公平であります。実際に児童館の方を利用しようとする「定員がいっぱい」や「阪谷は子育てさんがあるでしょう」など否定的な対応をされるので、もう少し柔軟な対応をお願いします。
- ・一次産業である農業に関わる人が減っていく中で、魅力を感じなかったり、生活していくだけの収入がないなどのコスパが低い事もあるので、「生きていく力」としても必要な体験学習も行ってはどうでしょうか？

- ・道の駅ビジョンは、どのような方が、どのような機会をもって計画を進めていращやるのでしょうか？言葉が汚いですが、大野のいい所はもちろん示しつつ、古い視点では活性化につながらないと感じます。他県の方はもちろん、まずは地元の人たちが普段から足を運べるようなもの(特に若い世代が)でなくてはいいと思います。
- ・雨でも一日遊べる公園(エンゼルランドのようなもの)の整備などを進めてほしいです。その一つの取り組みだけでも、若い世代が大野から出ていくのを食い止めるきっかけになると思うからです。
- ・今日は貴重な場をつくって頂き、ありがとうございました。これからもみんなで考える機会に参加していきたいです。
- ・大野市外への魅力ある情報の発信は、ホームページでは十分でないと思います。テレビで発信するのが一番だと思います。資金はかかりますが、長い目でみての発信をお願いしたいです。

- ・越前おおのブランドって、すこサイダーのようにまだまだおいしいものがあると思いますし、もっと見つけて発信をもっと考えてほしいです。
- ・雨や雪の日でも子どもたちが遊べる場所がほしいです。

地区ワークショップでのアンケート集計結果
(産業部会 関連意見の抜粋)

29 企業誘致のすすみぐあい？ 28 定住促進に必要な住みやすさ(学校、病院、買い物、仕事等)に不安がある。 21 融雪の水が道路を川にしている箇所が多い 13 これだけ消費者の安全がさけられているなか、犯罪が減らないのはなぜでしょう 10 ボランティアの育成はどんなことをしているのですか？ 6,7,8の満足度を上げることが必要 30,32,33については、和泉地区では見えてこない 36,37 市政に魅力がないのは確か。庁舎は立派ですが、職員と市民の情報の共有はできてないように思う
・未来の担う子供たちの為に、もっと住みやすい町、働きやすい町にしてほしい。 ・スポーツ等でがんばっている子の為にもっと支援をしてほしい。 ・高校生が無理なく通えるように公共交通手段の確保をしっかりしてほしい。 ・子育てがしやすい又若者が住みたくくなるような大野になってほしいと思うが、今のままでは若い人は住みたいと思わないと思う。子育て支援も妊娠されている方の支援も勝山に比べるとやや劣るのではないかと感じる。(勝山では、勝山病院で妊娠検診を受けると10万円支給されるなど) ・大月をおりる坂から大野市が一望できるスポットがあるので、活用して広めてほしいと思う。 ・阪谷は自然、景色がきれいなので、そういう所をもっと利用しアピールしたらどうかと思う。 ・農業している人がだんだん高齢化してくるので、将来どうなるのかと不安を感じる。 ・田んぼの草かりや水管理など、大変なので若い人はしたがりないし、もうけも少ないので、大変なだけで苦勞が多い。まとめて田うえ、稲刈りしてもらえるようにしてほしい。
大野市全体で、農作物の役割を分担するとよいと思う(希望をとる)。定年になった人に補助を出して、小さな地域ごとに車でタクシー代わりをするとよいと思う。
・人口を増やすためにまず結婚(仲人を増やしてほしい)。 ・イノシシ、サル、日本鹿は10年前までまったくいませんでした。市の対策が悪かったのでは(駆除してしまえばよかったのでは)。 ・大野市には豊かな自然があり、市の所有地もたくさんあります(有効に活用してほしい)。市外、県外、国外の人が呼べるような取組を。 ・長く区長をしていますが、大野市、地区の事を知らない事があります。
・通学の為の交通機関はしっかりと行ってほしい(待っている場所の確保)。 ・雪の多い地区です。除雪はしっかりとしてほしい(夜間に帰れなくなったことがある)。 ・部活動の充実、他の中学などと合同にしても良いのでは？統合を早めに！ ・中学の修学旅行で、大野さんの物品の販売を行っているが、毎回好評と聞きます。定期的に行うことができると良いと思います(地域ブランドの周知)。 ・総合体育館を増やしてほしい(大野、勝山で一つも無い)。雨天でも陸上競技ができるようにしておく。 ・健康の為に、市民が自由に使える施設が必要。 ・観光スポットを市内にまとめない方が良い。 ・市民参加のワークショップ(教室的なもの、子どもと一緒に参加できる様なもの)を平日だけでなく夜にも実施してほしい。 ・スポーツの体験会(メジャーでないスポーツ)
・何をするにしても徹底してほしい。中途半端なことはしてほしくない。 ・除雪対策を徹底してほしい。排雪の場所をしっかりと決めてほしい。各集落で自由に使える除雪機をおいてほしい。夕方から夜にかけての除雪、家に帰れない。 ・若い世代が市外へ流出しないよう、市内へ移って住む場合も支援してほしい。空き家を利用して市街地に残ってもらうなど。 ・JR、高校への通学の便をもっとよくしてほしい。利便性がないと市外へ出る動機になってしまうのではないかと。 ・上水道、行政が一本化して運営、管理してほしい。料金の統一化。 ・市が行っている成果が伝わってこない。PRをうまく行ってほしい。

地区ワークショップでのアンケート集計結果 (産業部会 関連意見の抜粋)

・大野市は市外の人に開かれた観光地を目指しているのか、市内の人が幸せに(今まで通り)暮らせるまちを目指しているのか。市民は後者の方が多いように感じる。だからアピール不足になるのではないか。学校、子どもありきの行事、発展を望むより、高齢化社会なので、自分たちでまちや市を盛り上げようという力が必要。

・観光地の体験時間がJRの発着時間と合っていないところがある(和泉など)。電車で来てもらいたい、使ってもらいたいなら観光地は交通機関と連携すべきだと思う。

・市総体を見たが、ほとんどの競技で全地区の参加者はそろわず、観客も少なく、とても市総体と言えるものではなかった。ほんの一部の人たちだけで行われていると感じた。どのようにしていくといいのかなと思った。

・色々なスポーツ行事を学校ありきで行っていると思う。今後、学校再編が進み、学校が自分たちの地域にない状況になっても、活気あるスポーツ行事を行っていくためには、どうしたらいいのかな。

・世代の違う方の意見が聞けて、とても勉強になりました。

大野市の方向性として、ガンガン活性化を目指すのではなく、仕事は福井市で行い、住むのは静かで落ち着いた大野ですというのはいかがでしょうか。

・「基本施策16 人にやさしい道路環境の創出」道路と歩道の境の雑草がひどく、景観も悪く、歩道の役目を果たしていない。

・「基本施策19 高度情報化の推進」子どものICTの推進は大人になってから始めてもいいのではないですか。

・「基本施策22 越前おおのブランド戦略の推進」道の駅で大野の里芋を使用した加工品をどんどんPRする。

・「基本施策5 共に力を合わせるふるさとづくり」地区で共に力を合わせて作業をするにも、高齢者が多くなり機械を使つての草刈りが難しく、大変。まだまだ男女の区別があります。

・「基本施策23 越前おおの型農業の推進」サルの害がひどく、野菜が全滅で困っています。

・「基本施策8 子どもと子育て家庭への支援」地区に子どもが少なく、私の孫(4歳)はたった一人で周りに誰もいないことが可哀そうなのと心配です。

・「基本施策32 快適な生活環境の保全」中部縦貫自動車道の工事で、今までずっと使っていた水が使用できなくなった事と水量が少なくなった。生水が自慢だったのですが、生水が飲めなくなった。

・「基本施策35 人口減少対策と地方創生の推進」私の地域は公民館活動や各種イベント等に参加する人がほとんどいない消極的な地域だと思う。

・学校もない、病院もないなどとなると、安心して子どもを産み育てることができない。

・「基本施策22 越前おおのブランド戦略の推進」アピール不足。勝山市では恐竜博物館で市外、県外にアピールしている。大野は自分のまちを守るという保守のイメージが強い。フリーペーパーでも市外は色々なイベントが掲載されているので、そういうのも活用してはどうか。(Famile、Paketelは福井市や坂井市、敦賀市等は自宅に投函されている。)

・「基本施策8 子どもと子育て家庭への支援」人とのつながりを増やす交流の意味も含めて婚活イベントの回数を増やす。内容や参加しやすい場づくりが求められると感じました。

・「基本施策32 快適な生活環境の保全」中部縦貫自動車道の建設により、水源地(下唯野、七板、上唯野)の山が壊されて水量の減少、水質悪化、生水は飲めたのに飲めなくなった。

・「基本施策35 人口減少対策と地方創生の推進」孫が今後安心して子育てできない。廃校により周りに友達がいなくなる。とても不安である。

生涯現役の就労支援なんて介護をしながらは厳しい。「生涯現役」でなくてもよいようなことはできないか。「生涯現役」ということは困難。お金の問題ではないが、明日の生活も厳しい。生涯現役を目的に持たせるのはいかがかと思う。

大野市自体に魅力がない。大野市だけでなく人口が減少している自治体は全てそう。鯖江は企業が来て活性化している。難しい問題。なんとか出て行く人を食い止めなければならないが、どうすればよいという答えは分からない。

越前大仏でガイドをしていた。勝山から大野へ行く観光客は少なかった。大野へ行かない理由を聞いたら「水はどこにでもあるから」と言われた。大野の観光資源は水だけでない。口コミで広まるのがよい。市内のある候補地で足湯を作れないかと考えていて、市職員にも相談している。

北陸新幹線、中部縦貫道を造っているが、沿線が切り捨てられる。弱者が切り捨てられる。JRだと現状では特急がなくなる。大野がそのときどういう対策をとるかということに市民は不安に思っている。

地区ワークショップでのアンケート集計結果 (産業部会 関連意見の抜粋)

産業団地への企業誘致について、広い面積があるが、売却できるのか。土布子では一つの工場しか入っていない。日本の経済を考えてみれば不利ではないか。
空き家になって自然倒壊し、放置されたものがそのまま鳥獣の住処になっており、生活の不安になっている。これらに対する取り組みが不十分だと感じている。
十分住める状態での空き家の活用というもののだけでなく、生活の利便性を求めて住居は移動しているが、納屋などがそのまま残され自然崩壊する現状が散見される。このようなものが鳥獣の住処になって、住民の不安になっている。
平成大野屋の大株主は大野市。大野市の比率を下げ、民間の株主を多くできないか。赤字が出れば補填するという甘い考えが多いと思う。結楽座に買いたい商品、お客に買って持たせてやりたい商品がない。大野市としてももっと考える必要がある。第六次の計画ができるころにはもう少し考えてもらいたい。
当初から花のジュータン形成事業としてシバザクラをブランド化する取り組みをしている。乾側地区はシバザクラの苗を育てていた唯一の地区であったことから、平成22年くらいから大野市のブランド化のため、乾側地区からシルバー人材センターや農林楽舎へ苗の提供をして、共に拡大していこうという趣旨で広がっていった。市の総合計画にも大きく銘打って支援をいただいた関係で市内一円に広まった。ただ、現状はシバザクラを植えているという地区が多くなっただけで、このままでは維持管理の面などで共通の認識が薄れ、世代が変わることで廃れていく可能性もある。乾側地区でシバザクラまつりを実施しているが、大野市の観光のPR材料として、拠点を決めて大野市全体に連帯感が生まれるようなイベントをすればシバザクラと大野市との結びつきが更に強くなると考える。
裁判所が移転した後、博物館をもってくると聞いている。城や周辺施設と合わせてワンコインで入館できるようにしてはどうか、ということを提案したことがある。博物館が大野城から離れており、観光客は大野城へ行くが、周辺の施設へはあまり行かない。以前、大野城で働いていたが、城へ登る道について自動車が登れるよう一方通行にしては。バスのツアーなどは大野城へ行くのに大抵1時間をみているが、20分かけて登って20分かけて降りる。城に着いたらトイレに入って中を見ずに帰ってしまう。救急車が上がるにも上がれない。一方通行で車が上げられるようにすれば、もっとお客さんが増えると思う。
越美北線について、千葉県房総鉄道のように自転車を載せられると利用客が増えるのではと思う。
右肩上がりの時代ではなく人口も減り、産業も衰退するなかで、どういう将来像を描いていくかということで苦心されていると思う。大変だと思うが頑張っていたきたい。
中山間地の中でも山間地に住んでいるため、農村山林環境を守りながら豊かな田園集落を守っていきたいと考えているが、崩れつつある。集落が崩壊する寸前に来ており、なかなか難しいと感じている。基本施策にこのような中山間地の活性化について基本的に考えてもらいたい。そうしないとこのような地域はいずれ消えてしまう可能性があると思う。次の計画の中に盛り込んで、抜本的な対策を進めてもらいたい。
中部縦貫道が造られることに不満があるわけではない。重点道の駅について意見がある。2022年に完成させ23年から供用開始すると言われているが、道の駅の内容が市民に知らされていない。稼働するにあたり、中でできるお店についても効果があるかどうか分からない。道の駅が賑やかになると、市内の商店街がどうなるか。これらの結びつきをどう考えているかの施策が見えてこないことが不満であり、不安である。
大野東インターに道の駅ができるが、道の駅九頭竜がどうなるかが大きな課題。現在は国道が使われているので賑わっているが、全線開通した後にどうやってお客を呼ぶかといった工夫を地元が行なっていかなければならないと考えている。
森林の保全について、現場は鹿の被害がすごい。これからどうするかということの対策をしなければ自然が失われていく。市から専門のところに依頼し、対策を講じなければならない。

地区ワークショップでのアンケート集計結果
(産業部会 関連意見の抜粋)

新聞にて食料自給率の問題が指摘されていた。教師をしていた頃、生徒には食料自給率は39%と指導してきた。現在37%。大変危機的な問題と受け止めている。アメリカからの大豆やトウモロコシの輸入制限をなくすと豆腐も食べられない、家畜の餌もないという状況になるだろう。大野では耕作放棄地を絶対作らない、農地が住宅地に変わるという見通しもあまりないので、農地を維持確保していくことを前提に、生きていける農業のあり方を追求していくべきと考える。大野のものは米でも野菜でも美味しいという定評がある。これを自慢とし、誇りとしていく。また、従事者における高齢化は言うに及ばず。若い方が農業という仕事をやってみたいと思ってもらえるよう、経済的な保証もなくてはならないし、生活の基盤となる仕事としての農業が成立する状態が必要。

阪谷では鳥獣害が喫緊の課題。なんとか解消の手立てを見出していかなければならないと考えている。農業で生活基盤が図れる、従事者の確保が図れる農業のあり方、食料自給率を確保していけるということを実地から発信していけるような農業のあり方を模索していかなければならないと考える。

これから高齢化になると機械を動かさなくなる。阪谷地区全体で広域の農業団体を作ってもらえるとよいと思っている。

バイオマス発電について、風向きによっては阪谷(松丸)に煙が来る。油混じりの匂いであつたりするため気になる。バイオマス発電と二酸化炭素を増やさないということは違うのでは。

国体のロードレースもよかったが鳥獣害被害が多く、大会当日に出てこないよう協力をしていた。サルも多い地域。ネットを張っていてもハクビシンも学習をして野菜を食べられた。

障害のある方と関わりがあるが、まだまだ分かり合えていないと感じるところがある。障害のある方が就労することが難しいので、雇用が増えるとよいと思う。

地区ワークショップでのアンケート集計結果 (地域・行政経営部会 関連意見の抜粋)

人口減少対策に参加者全員が不満があるというのが印象に残った。常日頃から気にしていることではあるが、どうやって大野市の人口減少を弱められるか、流出を止められるかを自分も考えながら、地域づくりをしています。地域が少しでも好きになって、帰ってきてもらえるようにと考えながら、活動しています。
青年層の参加者がなかったのが残念でした。
ビジョンとしては、大変素晴らしく、希望が持てると思います。しかし、絵にかいたぼたもちとならないよう検証していく必要があると思います。現状の課題をふまえた対策を真剣に議論する場を設ける。特殊な部門の職員移動を適正にする(せつかくの知識を無駄にしない)
地区の事業、各区体の事業が、次の世代にバトンタッチできない。
最終的にいかに魅力的な街づくりをして人口減少を防ぐか、それに全てつながっていくと思う。がんばろう！！
これからの時代、行政と市政のパートナーシップにより運営が求められます。いかに自分のまちを「自分ごと」として考え、行動することができるか、行政はその場合を提供できるか。前向きな議論と明確な方向性を。
大野は、人が育っていないのでは。今日のワークショップで15年後を描くなら、10代、20代、30代の若い人たちの意見を聞くべき。その点からも、若い人たちが参画する環境づくりが肝心。大野人はひかえめな、おとなしい性格が多く、ワークショップは向かないと思う。
大野地区は数十年前に婦人会がなくなり、体育協会も第3地区、第4地区が分団体育協会がなくなり、大変地域力が低下しています。市民協働の精神がなくなりつつあり、地域力向上の仕組みづくりをするべきだと思います。
平成17年に市町合併の時、越前市を見本にしたと思うが、芸術文化がまったくない。市民への情報提供が少ないと思う。全員の市民にすべてのことがわかるようにしてほしい。
地域の人たち個人個人が地域のことをよく知り、これからどうなるのか、どうなってほしいかをしっかり考えていく事が必要。
高望みせず、欲ばらず、現実を受け入れ、つつましいまちづくり。
中部縦貫道が出来、便利になる反面、和泉のような小規模の集落では逆に活力が無くなってしまうのではと心配です。そういった小規模の集落の事の今後については考慮されるのでしょうか？今回のワークショップとは別に、地区ごとの意見や問題点を聞き、出し合う場を作ってほしいです。それに対して市としての意見や、そういったバックアップ、補助ができるか等を知りたい。
中部縦貫道の和泉IC⇄大野東ICの早期開通と国道158号の万全な交通網整備充実による、和泉地区に住み続ける定住環境整備。 学校再編計画は、和泉地区は市街地から片道30km以上かかることから、学校は地域コミュニティの位置による学校を残すことを望む。 赤ちゃんから高齢者の方一人一人が市民が主役の中山間地域作りの政策の実現を求める。
・将来まで住みたいと考えさせる施策がない。 ・市に対して意見を出しても、全体での議論にならない。(上に上がらない。) ・市職員の中に横暴な職員が多くいる。上から目線。
・地域が考えている事が明確に分る様に思われる事が多く感じられています。 ・地域と市とが互いが理解し合う事が大事。 ・市から求めるに対応しきれない。 ・地域コミュニティの結集を生かす事が大事。

地区ワークショップでのアンケート集計結果
(地域・行政経営部会 関連意見の抜粋)

・六次計画にどう活かされるのか？ ・六次計画の委員構成、若者(30代、40代)が少なすぎるのでは？ ・基本施策38:担当課の窓口の受付席に着いてもすぐに対応に出てこない！
・ワークショップを通して各項目の視点が限られているので、評価もそのようになるので、全て正確とは言えないと思う。努力されていることも多いと思うけれど、ちょっと上調子のような気もする。 ・財政について人口減少が明らかなのに議員数や職員数が多すぎるのではないかとと思う。
・地域の子どもは地域で育てるという言葉が好きです。子育てから孫育て世代になりましたが、みんなで子どもを守れる環境が整っていくといいなあと思います。
・市がやっている事業について、市民まで届いていないと感じた。 ・人口減少対策、どうしたらいいのか、グループでもわかりませんでした。
地域を愛する気持ちを持つことが大切だと思います。
人口減少、少子高齢化が進む中で、次の世代に豊かさや活力をどのように引き渡していくか？ 地域の活力を世代間で継承し、地域に誇りを持ちながら生活できるような大野づくりをしていくには、やはり各地区の問題、課題をなるべく各地区で解決していけるような、地域の運営組織の充実が必要になってくるのかもしれない。
集落の戸数が減少してきている。高齢者が多くなり、地区行事に人が集まらない。
自治会へ出張して行政より発言してほしい。区民での話がほしい。
まちづくり、机上プランがうますぎる。プランづくりの主体は市民です。計画策定のプロセスが大切です。もっときめ細かい策定の場合多く持ってほしい。公民館が拠点となって地域づくり、人づくりに努めてほしい。
地域(地区、集落)の問題等を自由に出し合える集会の運営と、市の取組みと現状(進行状態)を知らせることが大事だと感じました。
1. ごみの資源について ペット、空き缶など回収日以外にゴミステーションに出す方が多い 2. 下庄地区は他の地域に比べると、まちづくりには積極的に参加していると思う。 3. 情報化時代で行政はHPなどで発信していると云っているが、高齢者はパソコンなど新しいスマートフォンなど活用が難しい。
特化したまちづくり、ブランド開発等々進めていき、使わない、いらない施設の廃止。福祉の充実(医療費、給食費の無料化まで進められるか)10年後の大野をみてみたいものです。
人が元気になるには、区長、民生委員になるのが嫌だと言う人が多いのはダメだと思います。地区民の世話をしてくださる人を育てるためにはどうしたらいいか行政は考えるべきである。
せっかく時間を作って参加したが、市民の声を聞く等のワークショップではなかったと思う。 学校再編について、市民に対する説明会及び市民の声を聞く機会がないのでは。 道の駅を大きな施設を作るように聞いているが、道の駅がつぶれるところが多いのもっと考えてほしい。 皆が活用するかは大きな問題だと思う。 空き家が足りませんのチラシを見ましたが、市内は空き家がたくさんあると思います。市職員が足で歩いて町内を見てほしい。 大野市の観光である水、御清水の清掃、保存等をしっかりしてほしい。御清水の清掃で大変苦勞をしています。
地域の取りくみに対し、支援する体制が必要。バイオマス発電で、小山の林業、山の管理はよくなったのか？

地区ワークショップでのアンケート集計結果
(地域・行政経営部会 関連意見の抜粋)

きょうの会議は、ワークショップの手法とは違う内容でないか。一般住民に総合計画の目標や施策をその場で説明して評価を求めるのは無理がある。ワイワイガヤガヤと話し合う(今を語り将来を語る)ものかと期待したが、ガッカリである。先行き不透明な時代に、無理して10年の計画を策定してもあまり意味がないのではないか。(せいぜい5年)担当課の皆さんは大変なご苦勞があると思うが、地に足の着いた計画としてほしい。自助、互助、共助の必要性は十分理解しているが、市民は公助に期待している。

ブランド戦略、高齢化が進むに従って、特産品作りの後継者の確保の重要性について不安がある。協力隊メンバーの育成に力を入れてほしい。任期終了後のサポートと地域に残ってもらう支援が大切。公民館活動の内容の充実で地域は活かされるゆえ、今一番、重点的に後押し、バックアップに力を入れてほしい。

中山間地の役割は、多面的機能をはじめ豊かな環境で済みやすい山村集落の形成になると感じている。特に和泉地区は集落を維持する限界に達しつつあり、よって基本施策の中の中山間地のあるべき姿を明記すべきと思う。「中山間地の活性化」とか。抜本的な支援を。

まちづくり会社、市街地活性化協議会など、まちなかを活性化しようとする組織は出来るが、具体的な施策が見えてこない。空家の活用はもちろんだが、和泉には空家はないし、自動車道が出来て岐阜・名古屋が通勤範囲になってきていることを踏まえて、住宅を建設し、人(若者)を誘致してほしい。人口増を考えてほしい。

間伐材を利用してもらったとしても、その後その杉をどうするのか、杉の価値、売れない(切るにもお金がかかるので、見合わない)。バイオマスの活用というが、その後がみえてこない。法恩寺の林道を整備して、恐竜博物館からつなげて観光の目玉にしたい。とても美しい景色である。
・ホームページなど、ネットは若い世代が利用すると思うが、市報や地域のたよりは紙で必要。観光客向けはSNS、ホームページでのアピールをもっとしてほしい。

大野市民として安心して生活できるよう希望する。

大野市の人口3万1千人の内、和泉地区人口500人、30年度目標が達成していたとの司会ではありましたが、和泉地区ではどうなのでしょう？
高齢による離農、放棄地のため緑が失われていく。基本目標である自然が元気、和泉地区ではどう市は考えているのか？

・道の駅ビジョンは、どのような方が、どのような機会をもって計画を進めていらっしゃるのでしょうか？言葉が汚いですが、大野のいい所はもちろん示しつつ、古い視点では活性化につながらないと感じます。他県の方はもちろん、まずは地元の人たちが普段から足を運べるようなもの(特に若い世代が)でなくてはいいと思います。
・雨でも一日遊べる公園(エンゼルランドのようなもの)の整備などを進めてほしいです。その一つの取り組みだけでも、若い世代が大野から出ていくのを食い止めるきっかけになると思うからです。
・今日は貴重な場をつくって頂き、ありがとうございました。これからもみんなで考える機会に参加していきたいです。
・大野市外への魅力ある情報の発信は、ホームページでは十分でないと思います。テレビで発信するのが一番だと思います。資金はかかりますが、長い目でみての発信をお願いしたいです。

・「基本施策14 中部縦貫自動車道の整備促進」 国道158号バイパスは福井との結合を促進してほしい。
・「基本施策16 人にやさしい道路環境の創出」 集落内の道路の陥没があるが、申請しても早期に補修してくれない。
・「基本施策17 快適な生活関連の基盤整備」 下水道の整備が遅れているように思われる。
・「基本施策27 地域間交流の推進」 市民には具体的にどういった所との交流があるか知らないのでは？そして、その成果にはどういうものがあるのか分からない。

地区ワークショップでのアンケート集計結果 (地域・行政経営部会 関連意見の抜粋)

公共交通手段の確保について、市内循環バスは充実しつつあるようだが、村部と市街地を結ぶ路線が徐々に減っている。これは利用者減によるものだろうが、減便すればますます不便になり利用者也減り悪循環が生じている。加えて、市内バスとの連絡が非常に悪い。
高齢者の免許返納も考えると、乗り合いタクシー等だけではいかなものかという気もする。市内と村部をスムーズに行き来できるような交通手段を作れば、まちなかの活性化にもつながると思う。交通網は大切だ。これから高齢化社会に向かっているのが目に見えているので、さらに交通網に力を入れてもらいたい。

・越前おおのブランドって、すこサイダーのようにまだまだおいしいものがあると思いますし、もっと見つけて発信をもっと考えてほしいです。
・雨や雪の日でも子どもたちが遊べる場所がほしいです。

29 企業誘致のすすみぐあい？
28 定住促進に必要な住みやすさ(学校、病院、買い物、仕事等)に不安がある。
21 融雪の水が道路を川にしている箇所が多い
13 これだけ消費者の安全がさけられているなか、犯罪が減らないのはなぜでしょう
10 ボランティアの育成はどんなことをしているのですか？
6,7,8の満足度を上げることが必要
30,32,33については、和泉地区では見えてこない
36,37 市政に魅力がないのは確か。庁舎は立派ですが、職員と市民の情報の共有はできてないように思う

・未来の担う子供たちの為に、もっと住みやすい町、働きやすい町にしてほしい。
・スポーツ等でがんばっている子の為にもっと支援をしてほしい。
・高校生が無理なく通えるように公共交通手段の確保をしっかりとしてほしい。
・子育てがしやすい又若者が住みたくなるような大野になってほしいと思うが、今のままでは若い人は住みたいと思わないと思う。子育て支援も妊娠されている方の支援も勝山に比べるとやや劣るのではないかと感じる。(勝山では、勝山病院で妊娠検診を受けると10万円支給されるなど)
・大月をおりる坂から大野市が一望できるスポットがあるので、活用して広めてほしいと思う。
・阪谷は自然、景色がきれいなので、そういう所をもっと利用しアピールしたらどうかと思う。
・農業している人がだんだん高齢化してくるので、将来どうなるのかと不安を感じる。
・田んぼの草かりや水管理など、大変なので若い人はしたがらないし、もうけも少ないので、大変だけで苦労が多い。まとめて田うえ、稲刈りしてもらえるようにしてほしい。

・通学の為の交通機関はしっかりと行ってほしい(待っている場所の確保)。
・雪の多い地区です。除雪はしっかりとしてほしい(夜間に帰れなくなったことがある)。
・部活動の充実、他の中学などと合同にしても良いのでは？統合を早めに！
・中学の修学旅行で、大野さんの物品の販売を行っているが、毎回好評と聞きます。定期的に行うことができると良いと思います(地域ブランドの周知)。
・総合体育館を増やしてほしい(大野、勝山で一つも無い)。雨天でも陸上競技ができるようにしておく。
・健康の為に、市民が自由に使える施設が必要。
・観光スポットを市内にまとめない方が良い。
・市民参加のワークショップ(教室的なもの、子どもも一緒に参加できる様なもの)を平日だけでなく夜にも実施してほしい。
・スポーツの体験会(メジャーでないスポーツ)

・大野市は市外の人に開かれた観光地を目指しているのか、市内の人が幸せに(今まで通り)暮らせるまちを目指しているのか。市民は後者の方が多いように感じる。だからアピール不足になるのではないか。学校、子どもありきの行事、発展を望むより、高齢化社会なので、自分たちでまちや市を盛り上げようという力が必要。
・観光地の体験時間がJRの発着時間と合っていないところがある(和泉など)。電車で来てもらいたい、使ってもらいたいなら観光地は交通機関と連携すべきだと思う。
・市総体を見たが、ほとんどの競技で全地区の参加者はそろわず、観客も少なく、とても市総体と言えるものではなかった。ほんの一部の人たちだけで行われていると感じた。どのようにしていくといいのかなと思った。
・色々なスポーツ行事を学校ありきで行っていると思う。今後、学校再編が進み、学校が自分たちの地域にない状況になっても、活気あるスポーツ行事を行っていくためには、どうしたらいいのかな。
・世代の違う方の意見が聞けて、とても勉強になりました。

地区ワークショップでのアンケート集計結果 (地域・行政経営部会 関連意見の抜粋)

・「基本施策16 人にやさしい道路環境の創出」道路と歩道の境の雑草がひどく、景観も悪く、歩道の役目を果たしていない。 ・「基本施策19 高度情報化の推進」子どものICTの推進は大人になってから始めてもいいのではないですか。 ・「基本施策22 越前おおのブランド戦略の推進」道の駅で大野の里芋を使用した加工品をどんどんPRする。 ・「基本施策5 共に力を合わせるふるさとづくり」地区で共に力を合わせて作業をするにも、高齢者が多くなり機械を使っの草刈りが難しく、大変。まだまだ男女の区別があります。 ・「基本施策23 越前おおの型農業の推進」サルの害がひどく、野菜が全滅で困っています。 ・「基本施策8 子どもと子育て家庭への支援」地区に子どもが少なく、私の孫(4歳)はたった一人で周りに誰もいないことが可哀そうなのと心配です。 ・「基本施策32 快適な生活環境の保全」中部縦貫自動車道の工事で、今までずっと使っていた水が使用できなくなった事と水量が少なくなった。生水が自慢だったのですが、生水が飲めなくなった。 ・「基本施策35 人口減少対策と地方創生の推進」私の地域は公民館活動や各種イベント等に参加する人がほとんどいない消極的な地域だと思う。 ・学校もない、病院もないなどとなると、安心して子どもを産み育てることができない。
・「基本施策22 越前おおのブランド戦略の推進」アピール不足。勝山市では恐竜博物館で市外、県外にアピールしている。大野は自分のまちを守るという保守のイメージが強い。フリーペーパーでも市外は色々なイベントが掲載されているので、そういうのも活用してはどうか。(Famile、Paketelは福井市や坂井市、敦賀市等は自宅に投函されている。) ・「基本施策8 子どもと子育て家庭への支援」人とのつながりを増やす交流の意味も含めて婚活イベントの回数を増やす。内容や参加しやすい場づくりが求められると感じました。 ・「基本施策32 快適な生活環境の保全」中部縦貫自動車道の建設により、水源地(下唯野、七板、上唯野)の山が壊されて水量の減少、水質悪化、生水は飲めたのに飲めなくなった。 ・「基本施策35 人口減少対策と地方創生の推進」孫が今後安心して子育てできない。廃校により周りに友達がなくなる。とても不安である。
しもプロでの活動で公民館を利用。イベント企画、実施をしている。公民館のサポートは十分。やっている側の年齢が上がる、家庭を持つといった状況の変化があり、活動に参加しづらくなってくる。若い世代が入らないと活動するには人手不足になっています。新しいメンバーが集まらないことが課題。
今の課題は核家族化。昔はおじいちゃん、おばあちゃんが面倒を見てくれていた。
大野はどうしても男文化。区長会には女性はいない。PTAに女性がいると場違いに見られる。根深いものがある。
市民総参加と言っているが、行政サイドで淡々と進んでいるように感じる。
大野市自体に魅力がない。大野市だけでなく人口が減少している自治体は全てそう。鯖江は企業が来て活性化している。難しい問題。なんとか出て行く人を食い止めなければならいが、どうすればよいという答えは分からない。
文化施設の整備について市内で問題になっているのは、民俗資料館の整備。議会での市の説明は内山家、大野城と一体感となるようなものにするため、移転するというものだった。補助金が50%もらえることについてを理由にしている。補助率が問題ではない。市民に不信感を抱かれてしまうのでは。
一人暮らしの高齢者宅の屋根雪おろしの問題もある。第五次を策定したときは若い方も多かったが、今の人口構成は当時とは違う。現状に合わせ、若い方が帰ってこられるような地域にするにはどうすればよいかということを盛り込まないといけな。
伊アーンの方には補助金があるが、今現在住んでいる、地元で頑張っていて定着している方への支援はない。その様な人達が外に出て行ってしまっている。このままでは大野がだめになってしまう。

地区ワークショップでのアンケート集計結果 (地域・行政経営部会 関連意見の抜粋)

ハード事業が進んでいるがボランティアで行われている活動には支援がない。何かしてあげたいが自分が支援してもらうような年齢になってきている。これらの問題を放置しておいたらだめ。

大野の場合、行財政が大問題で多くの市民が関心を持っている。どうやってこれから税収を上げて、執行して行くかということに関心がある。総合計画といっているが、計画指標を持たずに、単年度ごとに議会に提案して執行している。今年度予算、昨年度決算を見ても非常に厳しい。自主財源は20%。国や県に頼る傾向が強くなっていて、このままいくとパンザイする。財政調整基金も取り崩している。昨年、大雪で福井市の財政が問題になったが、よそごとではない。財政がしっかりしていないと今後10年間の総合計画が成り立たない。第六次の計画策定にあたっては、安心して市民が暮らしていけるよう、財政的な安心感を市民に与えないと、市民が外に出て行き、税収が減って行く。議会でも活発な議論を期待したい。

市税は総収入の5分の1。人口は減って行くので税収は増えることは考えられない。市民一人の借金70万円。市職員に聞いたら合併特例債などはいずれは返ってくるものであるから大丈夫と言っていた。しかし福井市のように、臨時で支出があった場合、耐えられない。職員の中にも危機感がないことが一番心配。危機意識について職員の一体感を出すような取り組みをしてほしい。

3月議会で今年度予算が182億円と聞いた。4月広報で収入と支出額は載っている。2017年度の市債発行額は137億5570万円。前市長にバランスシートまでとは言わないが、負債と基金がどれくらいあるのかの資料を作って欲しいと言った。137億円の負債に対して国からどれだけ戻ってくるのかがはっきりしない。広報にはこれくらいのことは書いて欲しい。

現在の大野市の状況を見ていると、市民総参加、協働型市政の推進とうたっているわりには、情報非開示の部分が多い。市民から付託を受けた市議会議員が職務で資料が欲しい場合、届けが必要。ある問題について担当課に行っても見せてくれない。昔は見せてくれていた。10年経って状況が後退している。届けがないと情報が得られないのはおかしい状況。このような状況で市民に協働と言っても、市民にとっては敷居が高くなり、協働のしようがない。計画の中にうたうのであれば改善していく、世の中の流れを見ていて変だと思ふことは直していくということがないと先に進めないと思う。

経常収支率が厳しい状況で前市政が生んだハコモノ行政が続いている。大型の公共事業は今しないといけないのか。徹底的な検証もなされていないし、しているとしても市民に伝わっていない。その様な中で市民に市政に関心を持ってほしい、この様な場に集まって欲しいと言っても無理。平日夜に開催しても仕事で疲れていて出てくるのは難しい。若者の意見を聞きたいが、この様なことでそのチャンスがない。市民アンケート実施の概要、何件に出して回収状況がどれくらいかの説明はあっても良いのでは。市が頑張っているという姿勢も見せないといけない。

地域間交流について、市長が変わって助成金が3分の1になった。助成金をもらうための条件は以前の2分の1のときのまま。決め事はそれでよいが、柔軟に対応してもらってもよいのでは。

第五次総合計画を策定した当時、人口減少がある程度予想されていた。人口減少や少子高齢化といった暗いイメージの中で、いかにして夢が持てる、希望が持てる計画ができるかということで検討されてきた。策定から8年経過して現状を見てみると、暖簾に腕押し状況だったということが率直な印象。「地域の力」がどの集落も衰えている。人が減る、リーダーになる人が減っている中で、行政は逆に地域の力を高めましようといっている。それも分かるが、現実を見たときに、地域のものは行政に依存せざるを得ない状況であると思う。自主自立、共助というが、行政の役割としては、お互いをどうやって補完していくかということを考えると、今まで以上に行政に支援してもらうことが必要なのではないかと思う。ただ、これは現状として非常に難しいということもよく分かっている。現実を見た中で、地域のことは地域で、と、突き放すことは余計に地域が衰えていくのではないかと思う。第六次総合計画は非常に難しい計画になると思うが、少しでも大野らしさを出して、市民の方が大野に住んでよかったと言えるようなものを目指していただきたい。よその真似をするのではなく、現実をしっかり捉えて作っていったらいいと強く願う。

地区ワークショップでのアンケート集計結果 (地域・行政経営部会 関連意見の抜粋)

介護保険事業の関係で小山、阪谷、乾側で始まっている事業がある。自分たちでできることを、お互い様でできることをしましょうという事業を始めている。自助、互助、共助、公助ということは皆さんよく理解をしている。ところが、現実を見てみると、かつての集落では自助、共助ができたが、現在は力が弱まっている。そういう中で、自助、共助という言葉が力が持たなくなってきたと感じており、ジレンマに陥っている。ただ、何もしないでいるのではなく、介護保険事業の中で、お互い様のところで小山地区で何かできないかということで事業を立ち上げ、月に1度10名ほどが集まって話をしている。難しい現実があり、将来あるべき理想の姿もあるが、どうやったらそこに向かっていけるのかということは未知数だということが正直なところ。

学校の中でIT化されているかどうかは、小学生がいない世帯では分からない。切り離されてしまっている世帯への施策が必要では。

大野の魅力をどんどん出していき、若い人にも集まって欲しい。

右肩上がりの時代ではなく人口も減り、産業も衰退するなかで、どういう将来像を描いていくかということで苦心されていると思う。大変だと思うが頑張っていたきたい。

中山間地の中でも山間地に住んでいるため、農村山林環境を守りながら豊かな田園集落を守っていきたいと考えているが、崩れつつある。集落が崩壊する寸前に来ており、なかなか難しいと感じている。基本施策にこのような中山間地の活性化について基本的に考えてもらいたい。そうしないとこのような地域はいずれ消えてしまう可能性があると思う。次の計画の中に盛り込んで、抜本的な対策を進めてもらいたい。

福祉関連施策については、特に社会福祉協議会で実施されているが、市からの補助金が90%以上。市の財政が緊迫している中、重点的に見ていかなければならない。いろいろな施策の中で強弱をつけて必要なものはこうあるべきだと打ち出さなければならぬ。

例えば和泉ふれあいセンターについて、住民にほとんど説明がないまま進められている。議会の議決を得たから、住民の代わりに区長の了解を得たからということで行政が進められたら意味がない。今後の計画について住民の意見を聞き、納得を得られた上で、合意を得られた上で進めるということをしていかないといけないと思う。

いろんな行事を小学校や中学校に対して任されるが、公民館や地域が主体となって、学校ありきではなく地域と一体となって運営するようなことも必要では。

市も県もパブリックコメントを実施しているが、一般には浸透していない。特に高齢者などインターネット環境がないような方はどうやって意見を発信できるのか、この辺りの救済を市に考えてもらいたい。

大野市の人口が減っている中、市議会議員さんも検討されているということだが、議員定数、職員定数も減っていいのかなという思いもある。職員定数については、昔でいう手作業が減っている分、減ってもいいのかなと思うが、仕事内容は広範囲になり増えているとも聞く。この辺りの管理について、税金を支払う市民の立場から、もっと見えるようになると良いと思う。

小中学校の統廃合、文化会館の新築など箱物を作らなければならないとは思いますが、財政が不安。

空き家の活用について、私の集落ではこの10年ほどで3軒が空き家になった。1週間だけ入ってきたいという方がいらっしゃったが、4年くらい住んで帰られた。家を壊すということより市に登録した方がメリットがあるという施策が足りないのではないかなと思う。

地区ワークショップでのアンケート集計結果 (教育部会 関連意見の抜粋)

恐竜などを学ぶ地質学の高校、大学などの奥越キャンパスの誘致を要望。

・公民館は学校が終わってすぐ行けるのがいい。宿題もできて、グラウンドで遊んだり、バドミントンも教えてくれて満足です。
・学校、保育園の人数が少ないので、運動会、連体などしか競うことがあまりなく、くやしいとかそんなに子どもが思っていないのが悲しい。

大野は、人が育っていないのでは。今日のワークショップで15年後を描くなら、10代、20代、30代の若い人たちの意見を聞くべき。その点からも、若い人たちが参画する環境づくりが肝心。大野人はひかえめな、おとなしい性格が多く、ワークショップは向かないと思う。

平成17年に市町合併の時、越前市を見本にしたと思うが、芸術文化がまったくない。市民への情報提供が少ないと思う。全員の市民にすべてのことがわかるようにしてほしい。

中部縦貫道の和泉IC⇄大野東ICの早期開通と国道158号の万全な交通網整備充実による、和泉地区に住み続ける定住環境整備。
学校再編計画は、和泉地区は市街地から片道30km以上かかることから、学校は地域コミュニティの位置による学校を残すことを望む。
赤ちゃんから高齢者の方一人一人が市民が主役の中山間地域作りの政策の実現を求める。

＜障害のある人への支援＞

・幼稚園、保育園での気がかりのある子ども(その家庭)に対し、相談できる機関、病院へスムーズにつながられるよう、市が取りまとめて、体制づくりを。
・幼児⇒児童⇒生徒⇒大人と、この間、引き続いての情報共有などの支援が受けられるよう、本人だけでなく、家族への相談が気軽にできる関わりをもてる機関(市)を作してほしい。色々な機関の連携の強化もお願いしたい。

＜不登校、ひきこもりへの支援＞

・学校と連携して相談に乗ってくれる場所の確立。本人、家族、学校、病院、相談所が個別のつながりだけでなく、全ての情報の共有を。
・ひきこもり、不登校は本人と家族のがんばりだけでは、どうにもできない。原因が分かるまでにも時間がかかる。大人になってしまうと一生ひきこもりの確立が高くなる。出られなくなってから、すぐの対応が必ずであると感じる。大人であっても家族ぐるみの支援があるとよいと思う。

＜小中学校＞

・小中学校は早く統合してほしい。子どもの人数が多い方ができることが多い。良いも悪いも体験できる。先生の数も多いので支援しやすい体制となるのではないかな。バスの通学がしっかりできれば、安心して田舎でも(阪谷でも)住んでいられる。小中学校の人数が少なすぎて不安。

・ワークショップに参加して思ったことは、大野市に生まれて生きてきたことに、まずよかったと思いました。
・小学校、中学校の統合には賛成です。少人数では勉強は十分目が届くとは思いますが、もっと大事な社会の中の一員としての協調性がなくては、大人の社会へは出ていけない。大人社会はもっと競争社会だと思う(いじめもある)。生ぬるい環境すぎると思います。義務教育の時は一人一人に目が届くが、学校生活が終わると一度も就職もせず、引きこもっている人が近所に何人かいます。声もかけられず、知らんぷりをしています。もっと行政が声かけしてもらえないかなと思います。
・大野には、車道と広い歩道があるけど、自転車は車道を走るようになっているけど、看板等をつけて歩道を走れるようにしてほしい。

・地域の子どもは地域で育てるという言葉が好きです。子育てから孫育て世代になりましたが、みんなで子どもを守れる環境が整っていくといいなあと思います。

特化したまちづくり、ブランド開発等々進めていき、使わない、いらない施設の廃止。福祉の充実(医療費、給食費の無料化まで進められるか)10年後の大野をみてみたいものです。

せっかく時間を作って参加したが、市民の声を聞く等のワークショップではなかったと思う。

学校再編について、市民に対する説明会及び市民の声を聞く機会がないのでは。

道の駅を大きな施設を作るように聞いているが、道の駅がつぶれるところが多いのもっと考えてほしい。皆が活用するかは大きな問題だと思う。

空き家が足りませんのチラシを見ましたが、市内は空き家がたくさんあると思います。市職員が足で歩いて町内を見てほしい。

大野市の観光である水、御清水の清掃、保存等をしっかりしてほしい。御清水の清掃で大変苦勞をしています。

地区ワークショップでのアンケート集計結果 (教育部会 関連意見の抜粋)

・小学校から中学校を一体化し、各地区の特色を出せるような学校を作る。和泉なら冬季(スキー)と化石の学校。特色ある学校づくりをするなら、各学校は残していく方向で。 ・和泉地区に在住していない消防団員をそろえるより、在住しているOBを加えてよいのではないか。(活動可能な人で) ・森林整備の名のもとに、バイオマス発電の材料を算出しているだけなのでは？路網設置のやり方がひどすぎる。 ・地区の意見の大まかな方向が出て良かったのではなかったか。ワイワイ楽しく話できたとは思わないが、この結果がどう反映されるのでしょうか？ ・結の心をやどす子を育てるなら、学校をなくさないでほしいと思う。地域と共に育てる必要があります。
ブランド戦略、高齢化が進むに従って、特産品作りの後継者の確保の重要性について不安がある。協力隊メンバーの育成に力を入れてほしい。任期終了後のサポートと地域に残ってもらう支援が大切。公民館活動の内容の充実で地域は活かされるゆえ、今一番、重点的に後押し、バックアップに力を入れてほしい。
・心の育成を中核とした教育を推進する学校づくり:いじめ、不登校ゼロの学校を強力に目指し、全国から児童、生徒を招き入れていく。 ・自転車のまちづくり:国体の自転車ロードレースが行われたことを契機として、自転車に関わる地域としてイメージアップを図る。そのための道路整備、愛好家へのサービス強化を進めていく。
・小中学校再編があり、現在子ども達が小学生でいるので、今後どうなっていくのか具体的な時期や場所などが、その都度明示(開示)されないの、より具体的に情報を出してほしいです。 ・少子高齢化である中で、現役世代への社会的、精神的な負担が大きくなっている中で、子育てへの支援も十分ではないので、もう少し手厚い支援をしてもらいたいです。高度・情報化推進は必要な事ですが、これに伴う技術よりも使う人の心の教育も必要です。特に子ども達は使うことに抵抗がないので、それぞれの家庭においてや地域においてのルールや思いやりの心も必要であると思います。 ・学校のある時は放課後児童クラブを18時まで、長期休みのときは子育てクラブ(有料)で利用していますが、中心部で児童館を利用している子ども達は無料など経済的な面で不公平であります。実際に児童館の方を利用しようとすると「定員がいっぱい」や「阪谷は子育てさんがあるでしょう」など否定的な対応をされるので、もう少し柔軟な対応をお願いします。 ・一次産業である農業に関わる人が減っていく中で、魅力を感じなかったり、生活していくだけの収入がないなどのコスパが低い事もあるので、「生きていく力」としても必要なので体験学習も行ってはどうでしょうか？
・越前おおのブランドって、すこサイダーのようにまだまだおいしいものがあると思いますし、もっと見つけて発信をもっと考えてほしいです。 ・雨や雪の日でも子どもたちが遊べる場所がほしいです。
・未来の担う子供たちの為に、もっと住みやすい町、働きやすい町にしてほしい。 ・スポーツ等でがんばっている子の為にもっと支援をしてほしい。 ・高校生が無理なく通えるように公共交通手段の確保をしっかりしてほしい。 ・子育てがしやすい又若者が住みたくなるような大野になってほしいと思うが、今のままでは若い人は住みたいと思わないと思う。子育て支援も妊娠されている方の支援も勝山に比べるとやや劣るのではないかと感じる。(勝山では、勝山病院で妊娠検診を受けると10万円支給されるなど) ・大月をおりる坂から大野市が一望できるスポットがあるので、活用して広めてほしいと思う。 ・阪谷は自然、景色がきれいなので、そういう所をもっと利用しアピールしたらどうかと思う。 ・農業している人がだんだん高齢化してくるので、将来どうなるのかと不安を感じる。 ・田んぼの草かりや水管理など、大変なので若い人はしたがいらないし、もうけも少ないので、大変なだけで苦勞が多い。まとめて田うえ、稲刈りしてもらえるようにしてほしい。

地区ワークショップでのアンケート集計結果 (教育部会 関連意見の抜粋)

・通学の為の交通機関はしっかりと行ってほしい(待っている場所の確保)。
 ・雪の多い地区です。除雪はしっかりしてほしい(夜間に帰れなくなったことがある)。
 ・部活動の充実、他の中学などと合同にしても良いのでは？統合を早めに！
 ・中学の修学旅行で、大野さんの物品の販売を行っているが、毎回好評と聞きます。定期的に行うことができると良いと思います(地域ブランドの周知)。
 ・総合体育館を増やしてほしい(大野、勝山で一つも無い)。雨天でも陸上競技ができるようにしておく。
 ・健康の為に、市民が自由に使える施設が必要。
 ・観光スポットを市内にまとめない方が良い。
 ・市民参加のワークショップ(教室的なもの、子どもと一緒に参加できる様なもの)を平日だけでなく夜にも実施してほしい。
 ・スポーツの体験会(メジャーでないスポーツ)

・大野市は市外の人に開かれた観光地を目指しているのか、市内の人が幸せに(今まで通り)暮らせるまちを目指しているのか。市民は後者の方が多く感じる。だからアピール不足になるのではないか。学校、子どもありきの行事、発展を望むより、高齢化社会なので、自分たちでまちや市を盛り上げようという力が必要。
 ・観光地の体験時間がJRの発着時間と合っていないところがある(和泉など)。電車で来てもらいたい、使ってもらいたいなら観光地は交通機関と連携すべきだと思う。
 ・市総体を見たが、ほとんどの競技で全地区の参加者はそろわず、観客も少なく、とても市総体と言えるものではなかった。ほんの一部の人たちだけで行われていると感じた。どのようにしていくといいのかなと思った。
 ・色々なスポーツ行事を学校ありきで行っていると思う。今後、学校再編が進み、学校が自分たちの地域にない状況になっても、活気あるスポーツ行事を行っていくためには、どうしたらいいのかな。
 ・世代の違う方の意見が聞けて、とても勉強になりました。

・「基本施策16 人にやさしい道路環境の創出」道路と歩道の境の雑草がひどく、景観も悪く、歩道の役目を果たしていない。
 ・「基本施策19 高度情報化の推進」子どものICTの推進は大人になってから始めてもいいのではないですか。
 ・「基本施策22 越前おおのブランド戦略の推進」道の駅で大野の里芋を使用した加工品をどんどんPRする。
 ・「基本施策5 共に力を合わせるふるさとづくり」地区で共に力を合わせて作業をするにも、高齢者が多くなり機械を使つての草刈りが難しく、大変。まだまだ男女の区別があります。
 ・「基本施策23 越前おおの型農業の推進」サルの害がひどく、野菜が全滅で困っています。
 ・「基本施策8 子どもと子育て家庭への支援」地区に子どもが少なく、私の孫(4歳)はたった一人で周りに誰もいないことが可哀そうなのと心配です。
 ・「基本施策32 快適な生活環境の保全」中部縦貫自動車道の工事で、今までずっと使っていた水が使用できなくなった事と水量が少なくなった。生水が自慢だったのですが、生水が飲めなくなった。
 ・「基本施策35 人口減少対策と地方創生の推進」私の地域は公民館活動や各種イベント等に参加する人がほとんどいない消極的な地域だと思う。
 ・学校もない、病院もないなどとなると、安心して子どもを産み育てることができない。

・「基本施策22 越前おおのブランド戦略の推進」アピール不足。勝山市では恐竜博物館で市外、県外にアピールしている。大野は自分のまちを守るという保守のイメージが強い。フリーペーパーでも市外は色々なイベントが掲載されているので、そういうのも活用してはどうか。(Famile、Paketelは福井市や坂井市、敦賀市等は自宅に投函されている。)
 ・「基本施策8 子どもと子育て家庭への支援」人とのつながりを増やす交流の意味も含めて婚活イベントの回数を増やす。内容や参加しやすい場づくりが求められると感じました。
 ・「基本施策32 快適な生活環境の保全」中部縦貫自動車道の建設により、水源地(下唯野、七板、上唯野)の山が壊されて水量の減少、水質悪化、生水は飲めたのに飲めなくなった。
 ・「基本施策35 人口減少対策と地方創生の推進」孫が今後安心して子育てできない。廃校により周りに友達がいなくなる。とても不安である。

しもプロでの活動で公民館を利用。イベント企画、実施をしている。公民館のサポートは十分。やっている側の年齢が上がる、家庭を持つといった状況の変化があり、活動に参加しづらくなってくる。若い世代が入らないと活動するには人手不足になっています。新しいメンバーが集まらないことが課題。

地区ワークショップでのアンケート集計結果 (教育部会 関連意見の抜粋)

国体が終了したが大野で開催したのは自転車、相撲、カヌーであり、競技に関連する施設が何も残っていない。
文化施設の整備について市内で問題になっているのは、民俗資料館の整備。議会での市の説明は内山家、大野城と一体感となるようなものにするため、移転するというものだった。補助金が50%もらえることについてを理由にしている。補助率が問題ではない。市民に不信感を抱かれてしまうのでは。
図書館の便が悪く、カフェを併設してはどうかと思う。また、午前、午後に分けて、大人から入場料を50円取るなどして良いのでは。冬は暖房、夏は冷房がかかっているため。
小山小学校では「ふれあい農園」を作っていて、お年寄りが小学生を手伝っている。参加者の楽しみ、励みにもなる。
右肩上がりの時代ではなく人口も減り、産業も衰退するなかで、どういう将来像を描いていくかということで苦心されていると思う。大変だと思うが頑張っていたきたい。
和泉と大野市街地を比べると、和泉は子どもから現役世代まで一人一人が主人公。一人一人を大切にす る人づくりが必要。そのためには学校も必要、公民館活動も必要。青葉の笛や昇竜太鼓など青少年育成と いった共通のテーマを持って活動している。このような持続可能な地域づくり、人づくりが必要だと思う。
障害のある子への支援についてだが、幼稚園、保育園へ行って気になるところがあるとされた時に、どう してよいか、相談する先、受診する病院が分からない。この先親としてどのように対応していけば良いか分 からない。保育園や小学校に上がった時に、気になるところが見つかった際に、どういった所へ相談したら 良いか、病院はどのような所へ行けば良いかなど、相談できる専任の先生から統一した情報を得られると 良い。小学校から中学校に上がった際にも、学校の先生以外にも支援の専門の先生がいて、保育園と小 学校での情報や病院での診断内容、どう対応すれば良いかということを、義務教育の間は一貫して支援が 受けやすい状況になるとよい。身体に障害がある場合は早い段階で分かるが、精神に障害がある場合、 保育園や小学校に入ってからなど大きくならないと気づきにくい。親もどうしてよいか分からず不安だし、受 けとめられない。市内の障害のある子がいる家庭が統一的に相談できるような場所、情報を持っていけれ る場所があるとよい。子どもの状況を把握しておいてもらえる体制が確立すると良いと思う。普通の中学校 であっても担任の先生、養護の先生、こころの教室のサポートなど支援は手厚くなっていると感じている。 軽い障害のある子もたくさんいる。学校の場で馴染んでいけるように子どもを見てもらえるような体制がで けるともっと良くなると思う。
いろんな行事を小学校や中学校に対して任されるが、公民館や地域が主体となって、学校ありきではなく 地域と一体となって運営するようなことも必要では。
小学校の連合体育大会を見に行ったが、子どもの数が少ない。テント1張りに子どもが全員入っていた。昔 では考えられない。
便利になるのは良いが、子どもが機器を使いすぎると考える能力が育たなくなる、目が悪くなるといった点 から推進には反対。子どものうちは自然に触れ合わせ、機器に触れるのはもっと大きくなってからで良いと 考えている。
「安心して子どもを生み育てられる環境づくり」とあるが、学校がどんどん少なくなり、これからの子どもは周 りに友達がいなくなり不安。
小中学校の統廃合、文化会館の新築など箱物を作らなければならないと思うが、財政が不安。